

## 住民アンケート結果

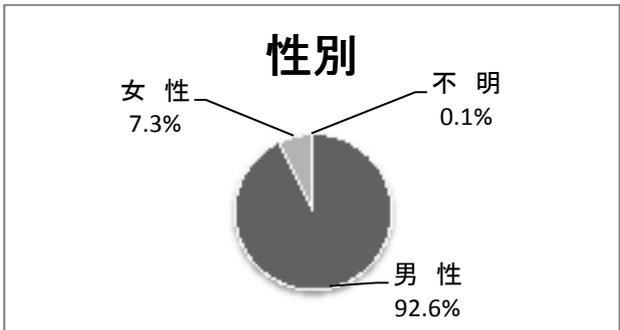
問1 調査対象の属性	1 ページ
問2 市町村合併の効果について	2 ページ
(1) 期待されている合併の効果に対する住民の評価	2 ページ
(1)各項目の主な意見	4 ページ
(2) (1)以外の、現れている合併の効果、期待していたが現れていない合併の効果及び合併により生じた課題	12 ページ
(3) 行政サービスに関する合併の効果	14 ページ
(3)－1 期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価	14 ページ
(3)－2 合併前と比べ「関心が高くなった」、「関心が低くなった」行政サービス	17 ページ
(3)各項目の主な意見	19 ページ
問3 今後市町に望むこと及び具体的な提言	35 ページ
問3各項目の主な意見	37 ページ
問4 自由意見	43 ページ

# 問1 調査対象者の属性

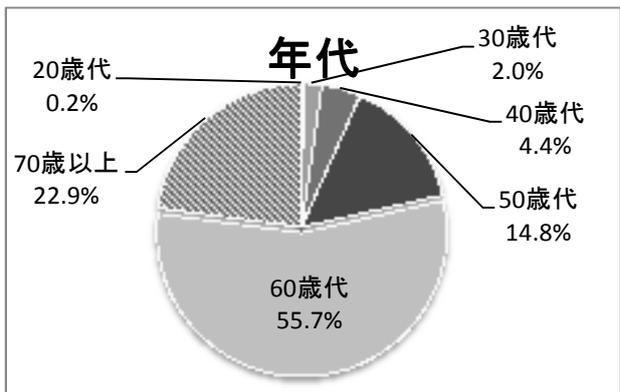
調査対象: 合併市町在住の区長等  
 回答状況: 総回答数

1,089 人  
 891 人 (回答率: 81.8 %)

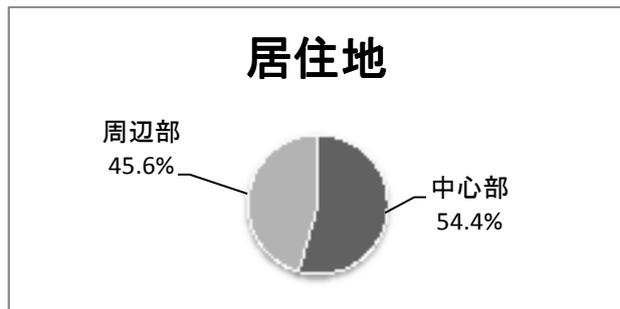
性別	実数(人)	構成比(%)
男性	825	92.6
女性	65	7.3
不明	1	0.1
合計	891	100.0



年代	実数(人)	構成比(%)
20歳代	2	0.2
30歳代	18	2.0
40歳代	39	4.4
50歳代	132	14.8
60歳代	496	55.7
70歳以上	204	22.9
合計	891	100.0

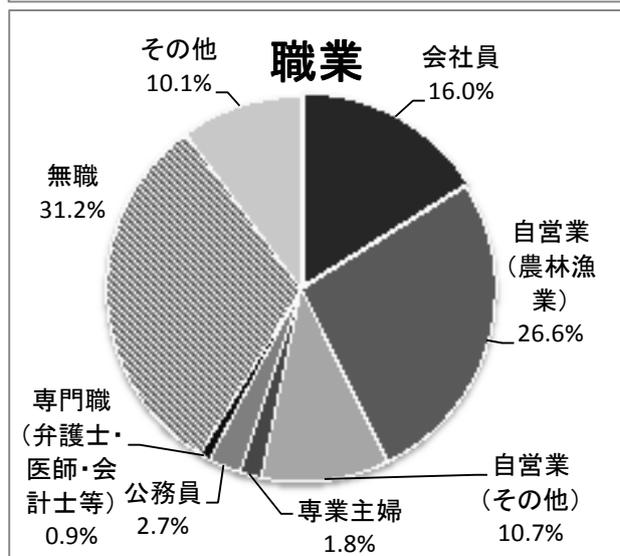


居住地	実数(人)	構成比(%)
中心部	485	54.4
周辺部	406	45.6
合計	891	100.0



- ・合併後の新市町の本庁舎が所在する旧市町村→「中心部」
- ・それ以外の旧市町村→「周辺部」

職業	実数(人)	構成比(%)
会社員	143	16.0
自営業(農林漁業)	237	26.6
自営業(その他)	95	10.7
専業主婦	16	1.8
公務員	24	2.7
専門職(弁護士・医師・会計士等)	8	0.9
無職	278	31.2
その他	90	10.1
合計	891	100.0



## 問2 市町村合併の効果について

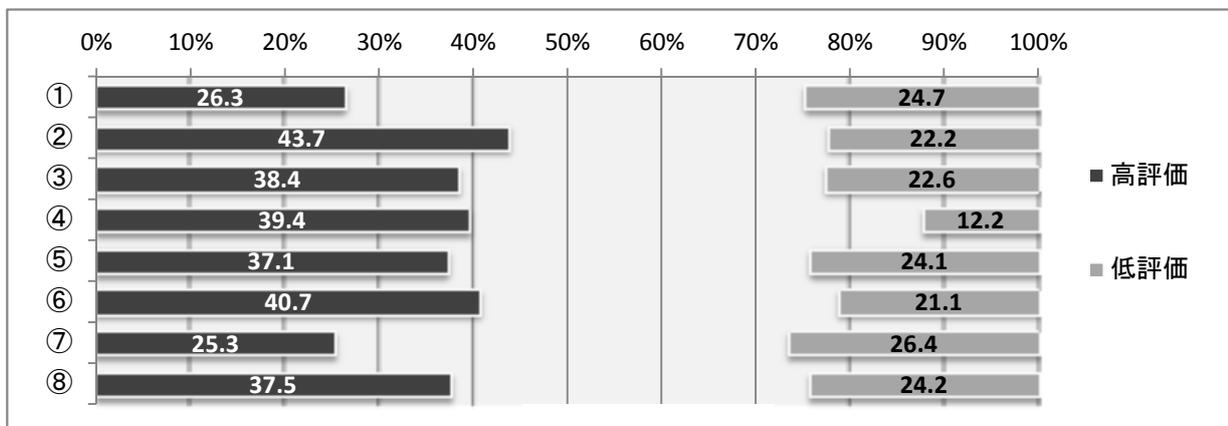
### (1) 期待されている合併の効果に対する住民の評価

上段:人数(人)  
下段:割合(%)

事 項	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ない	どちらとも言え ない	そう思わない	どちらかと言え ばそう思わない	高評価	順位	低評価	順位
①専門職(保健師・管理栄養士・土木技師・建築技師等)の増員などにより、専門的で質の高いサービスを受けられるようになった 〈例〉保健師による各種ケアや健康相談・教室の開催	52	182	427	117	103	234	7	220	2	
	5.8	20.4	47.9	13.1	11.6					
②情報ネットワーク網が広がるなど、これからの時代や新しいニーズに応えたサービスを受けられるようになった 〈例〉CATVや光ケーブルの整備	105	284	296	103	95	389	1	198	6	
	11.8	31.9	33.2	11.6	10.7					
③合併したことで、他の旧市町村の窓口サービスや、図書館、スポーツ・福祉施設などの公共施設が利用できるようになった	93	249	341	101	100	342	4	201	5	
	10.4	27.9	38.3	11.3	11.2					
④福祉等の許認可・届出や児童相談など、これまでは県に対して行っていた申請や相談などが、お住まいの市町でできるようになった	80	271	414	52	57	351	3	109	8	
	9.0	30.4	46.5	5.8	6.4					
⑤地域間をつなぐ道路や、廃棄物・し尿処理施設、上下水道などの整備(計画)が進み、生活環境がよくなった	106	225	335	105	110	331	6	215	4	
	11.9	25.3	37.6	11.8	12.3					
⑥市町の区域が広がったことにより、文化・スポーツなどで住民相互の交流が広がった	100	263	331	93	95	363	2	188	7	
	11.2	29.5	37.1	10.4	10.7					
⑦地域の自主的・主体的な住民活動やコミュニティづくりが進んだ	42	183	423	143	92	225	8	235	1	
	4.7	20.5	47.5	16.0	10.3					
⑧観光資源や特産物などの地域資源が増えるなど、自分の市町の一体感が醸成され、イメージが良くなった(自分の市町の全国的な知名度が上がった)	66	268	332	128	88	334	5	216	3	
	7.4	30.1	37.3	14.4	9.9					

※「高評価」=「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計

※「低評価」=「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計

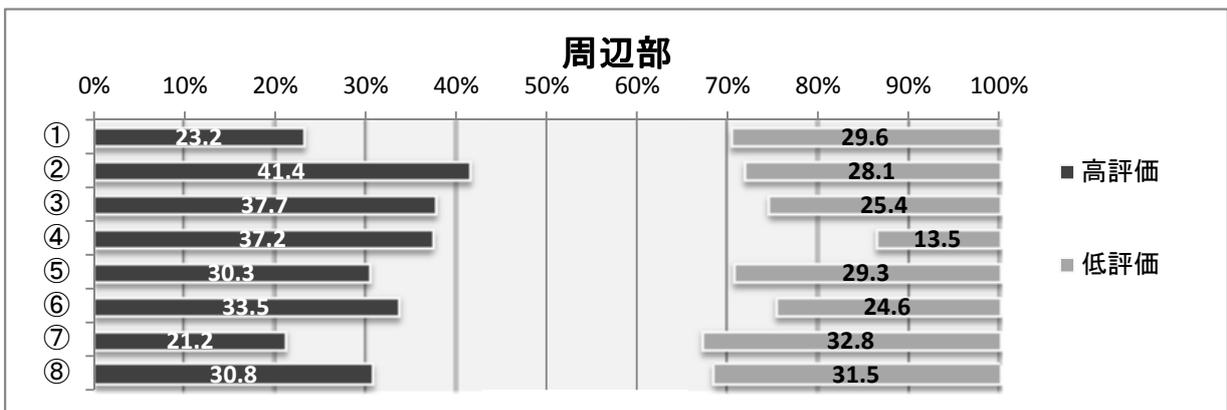
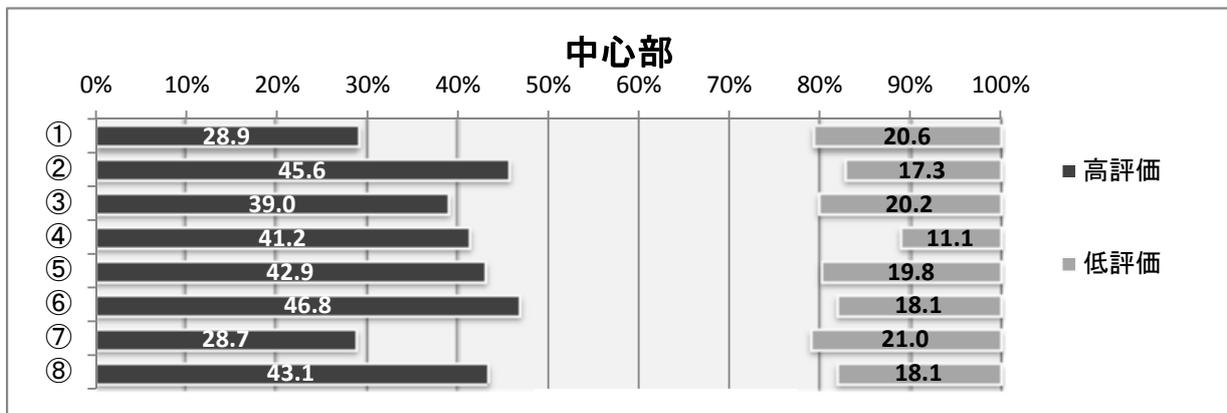


(1) - 1 中心部・周辺部別集計(それぞれの総回答者数に対する割合)

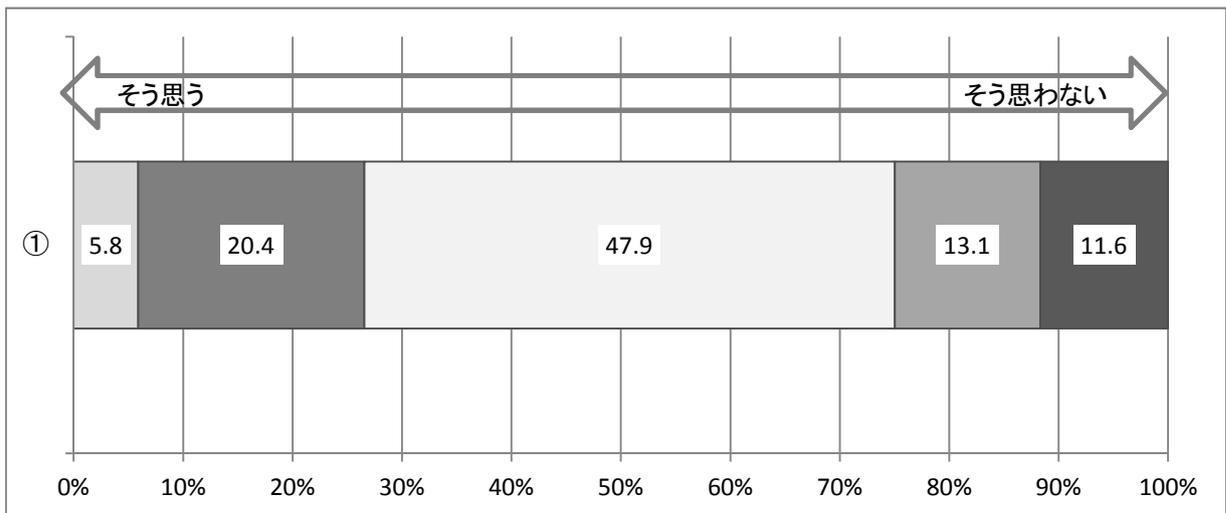
単位:%	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えな い	どちらかと言え ば そう 思わ ない	そう 思わ ない	高 評 価	順 位	低 評 価	順 位
<b>中心部</b>									
①	7.4	21.4	49.3	12.0	8.7	28.9	7	20.6	2
②	13.0	32.6	35.9	8.2	9.1	45.6	2	17.3	7
③	10.3	28.7	39.8	10.1	10.1	39.0	6	20.2	3
④	10.1	31.1	45.8	5.8	5.4	41.2	5	11.1	8
⑤	13.6	29.3	36.1	10.9	8.9	42.9	4	19.8	4
⑥	12.8	34.0	33.8	9.3	8.9	46.8	1	18.1	5
⑦	4.9	23.7	49.3	13.2	7.8	28.7	8	21.0	1
⑧	8.9	34.2	37.5	11.1	7.0	43.1	3	18.1	5
<b>周辺部</b>									
①	3.9	19.2	46.3	14.5	15.0	23.2	7	29.6	3
②	10.3	31.0	30.0	15.5	12.6	41.4	1	28.1	5
③	10.6	27.1	36.5	12.8	12.6	37.7	2	25.4	6
④	7.6	29.6	47.3	5.9	7.6	37.2	3	13.5	8
⑤	9.9	20.4	39.4	12.8	16.5	30.3	6	29.3	4
⑥	9.4	24.1	41.1	11.8	12.8	33.5	4	24.6	7
⑦	4.4	16.7	45.3	19.5	13.3	21.2	8	32.8	1
⑧	5.7	25.1	36.9	18.2	13.3	30.8	5	31.5	2

※「高評価」=「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計

※「低評価」=「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計



① 専門職(保健師・管理栄養士・土木技師・建築技師等)の増員などにより、専門的で質の高いサービスを受けられるようになった



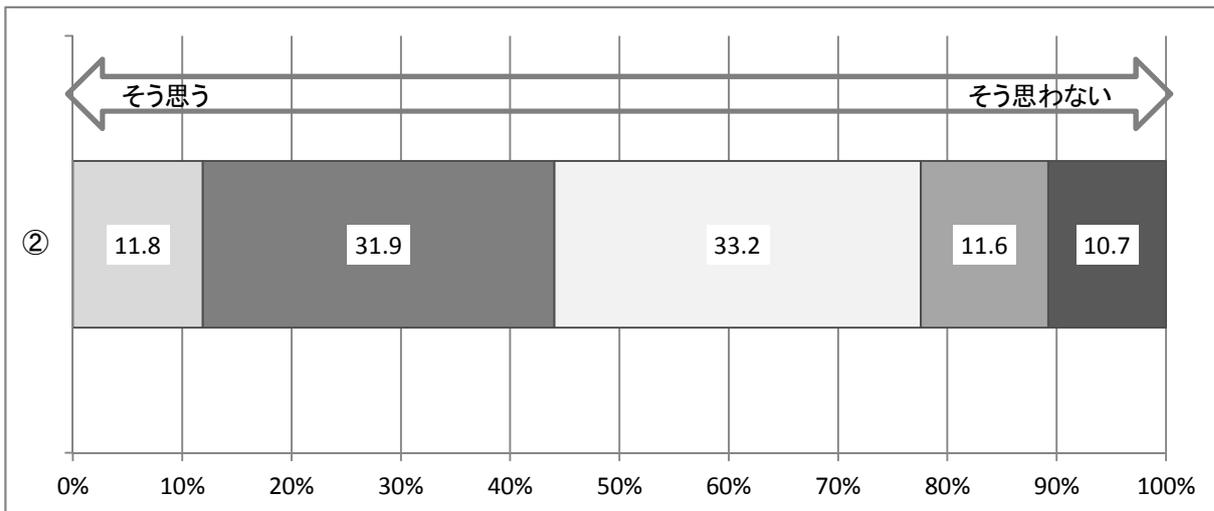
▲「そう思う」主な理由

- ・農道、水路、土地改良等の工事が進むようにはなったが、一方で合併に伴い部課での事務分担が変わったことにより対応が非常に遅くなってしまった部分もある。
- ・保健センターの機能が高度化され、専門職の人材も配備され訪問介護など極めて細かなサービスも充実できた。各種ケアや健康教室などが地域で数多く開催されることや、高齢者の介護、健康相談を通じて、地域包括支援センターを身近に感じており、効果もあると思われる。地区の民生委員や見守り推進委員との連携を図り、高齢者の健康維持に努めている。ケアマネージャーの配備で介護保健の適正な運用も図っている。
- ・保健師、消防職員の質、専門性が向上した。
- ・デイサービスの方が独居老人宅を訪問し、相談に乗るなど、健康指導、介護等のサービスがきめ細かく行われるようになった。

▼「そう思わない」主な理由

- ・正職員が少なく、また本庁でしか決裁できないことが大部分であるため、地域住民に直結した仕事や対応ができない。
- ・本庁が置かれた地域中心の行政になるため、それ以外の地域からしたら、何がよくなったかわからないし、対応の遅さを感じる。
- ・職員の質自体が変化していないので合併の効果は感じない。
- ・専門職が増員されたかどうかは、一般市民にはわからない。
- ・専門職の増員によりどういったサービスが受けられるのか住民に周知できていない。
- ・専門職の増員があつたとしても、合併前と比べると、地域住民との接触が少なくなり、保健師等による住民へのきめ細かい指導などの住民の立場に立ったサービスが行われなくなった。地域住民も以前より頼りにしなくなったように思う。
- ・土木・建築・水道の技師が不足している。

② 情報ネットワーク網が広がるなど、これからの時代や新しいニーズに応えたサービスが受けられるようになった



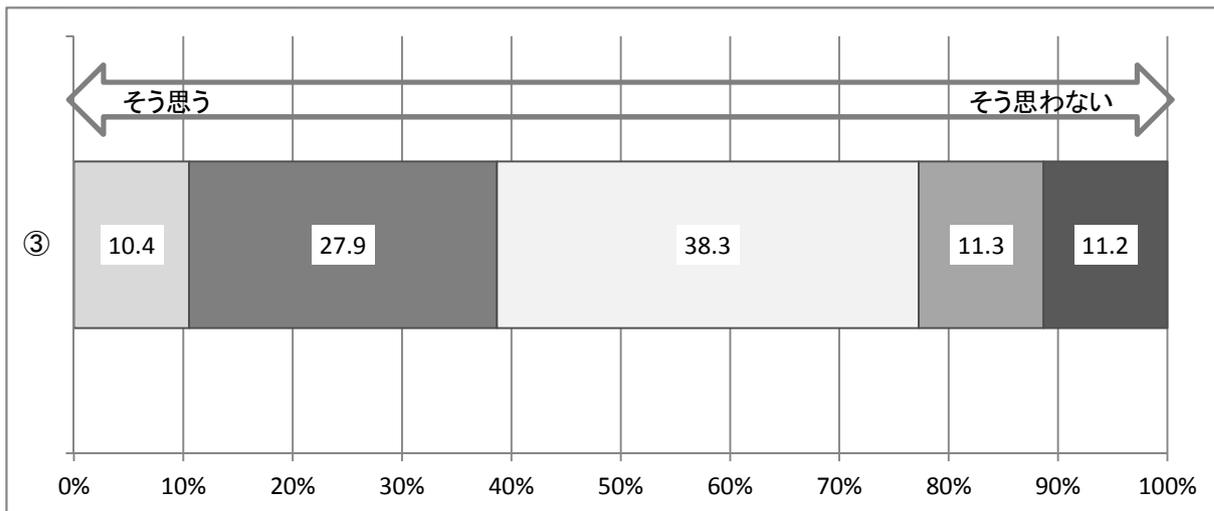
▲「そう思う」主な理由

- ・各種情報ネットワークが整備され、窓口サービスが向上した。
- ・本庁や各支所と連絡所や公共施設(学校等)間に光ケーブルが整備されCATV事業者がこれを利用しテレビの難視聴対策事業に参入することにより、周辺地域でのテレビ難視聴の解消やインターネット環境の整備を図ることができた。
- ・CATVの整備により、市内の情報の共有が図られ一体感の醸成に繋がっている。山間地でも市街地と同じ情報が得られ、情報過疎の解消に貢献している。
- ・CATVや光ケーブルの整備により学童、生徒の親に対して良好な情報ネットワーク網がある事が、安心安全なまちづくりになっている。

▼「そう思わない」主な理由

- ・観光などのPRにはインターネットを駆使して動画の配信などを行わないと現代社会ではインパクトに欠けると思われるが、整備が不十分で満足に利用できない。
- ・光ケーブルが整備されていない地区のためインターネットの通信速度が遅く不便である。
- ・衛星放送の見られない地域が残っており、サービスの恩恵を受けられていない。
- ・情報ネットワーク網の広がりや中心部だけで、周辺部では設置の話すら聞こえてこない場所もある。市内格差が拡大しているようにも感じる。
- ・合併の有無に関わらず、情報ネットワーク網の整備は進んでいたと思う。

③ 合併したことで、他の旧市町村の窓口サービスや、図書館、スポーツ・福祉施設などの公共施設が利用できるようになった



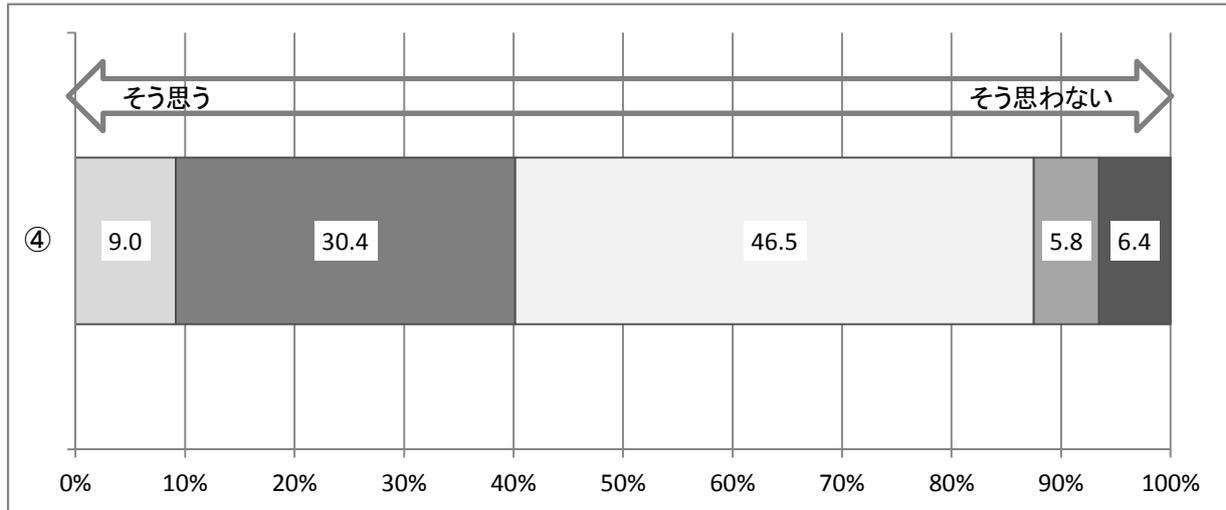
▲「そう思う」主な理由

- ・旧行政区にとらわれず、利便性の高い施設が利用可能になった。
- ・住民票の写し取得等の窓口でのサービスが、本庁・支所でできるようになり、便利になった。
- ・買い物に出掛けたついでに近くの図書館で本を借りたり返却したりでき便利になった。また期日前投票でも勤務先の近くの庁舎で投票できることも便利である。
- ・図書館利用の場合、合併前は1館のみの利用だったのが、複数の図書館を利用でき、取り寄せも可能になり、借りた図書館以外での返却も可能になるなど利便性が向上した。
- ・スポーツ施設等で利用できるものが増えたので場所探しが楽になった。一方で使用料が発生するようになった施設もあり、以前より住民と行政間での協働性が薄れたようにも感じる。
- ・各施設等の情報収集が可能になり、行動の範囲が広がった。
- ・合併より、利用可能な福祉施設の数が増え、入所できる可能性が広がった。一方で、利用料が高額なため、入所できない施設もある。
- ・合併に慣れてくると新市の住民という意識も持ち始め、それと同時に新市の各施設を利用しやすく感じるようになった。

▼「そう思わない」主な理由

- ・合併相手が小規模で遠隔地であるため、合併効果はなく、むしろ持ち出しの方が多くなると思われる。
- ・他の旧市町村の窓口を利用する必要性が特段ない。
- ・利用可能な窓口サービス、公共施設について知らない一般市民が多いと思う。市からもっと宣伝してほしい。
- ・合併により施設の統廃合が起こり、これまでより遠くへ行かないと利用できなくなった。
- ・各施設まで時間がかかりすぎるため、利用には無理がある。
- ・図書館やスポーツ施設等は合併前から利用する人は限られていたし、合併後も変わらないと思われる。
- ・公共施設を利用したくても、距離が遠く1日がかかりとなってしまふ。交通手段も少なく、結果利用しても費用が高額になってしまふ。高齢者にとっては利用しに行くことすら難しい。
- ・合併に伴い人口も流出したし、新市の本庁に統合整理されたため、旧市町村単位では職員が減少しており、過疎化が一層進んだ。
- ・支所になり、職員数も減り、合併前より窓口サービスは低下したように思う。
- ・図書館や福祉施設などは立派なものが作られたが、利用するのは中心部の住民ばかりとなっている。
- ・合併したのに必要以上に支所が残っているのは、旧市町村単位での地域のエゴだと思われる。

④ 福祉等の許認可・届出や児童相談など、これまでは県に対して行っていた申請や相談などが、お住まいの市町でできるようになった



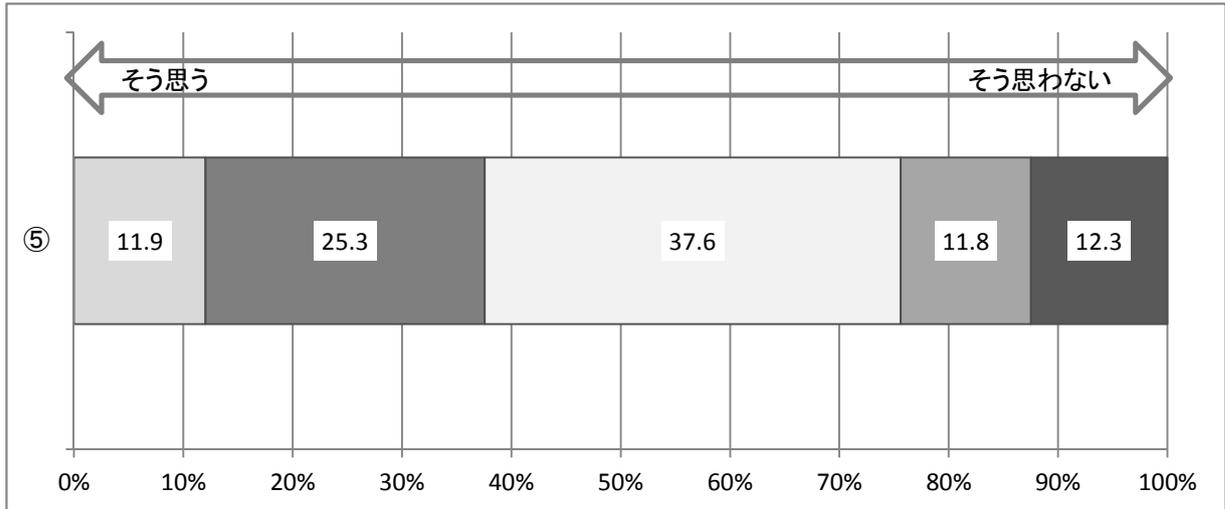
▲「そう思う」主な理由

- ・各種許認可制度の窓口が増えているため、時間と手間が省けて大変便利になったと思う。
- ・市役所でほとんどの手続きができるようになったことや、窓口での手続きのワンストップサービス化など、手続きが容易になった。

▼「そう思わない」主な理由

- ・合併前後で何が変わったのか認識できない。
- ・旧市町村単位の支所では取扱いができず、結局本庁まで出向かないと対応してもらえないような申請、相談等の手続きがある。
- ・簡単な許認可、届け出は支所でもできるが、少し複雑になると本庁に行かなければならなくなるので、反って不便になった。

⑤ 地域間をつなぐ道路や、廃棄物・し尿処理施設、上下水道などの整備（計画）が進み、生活環境がよくなった



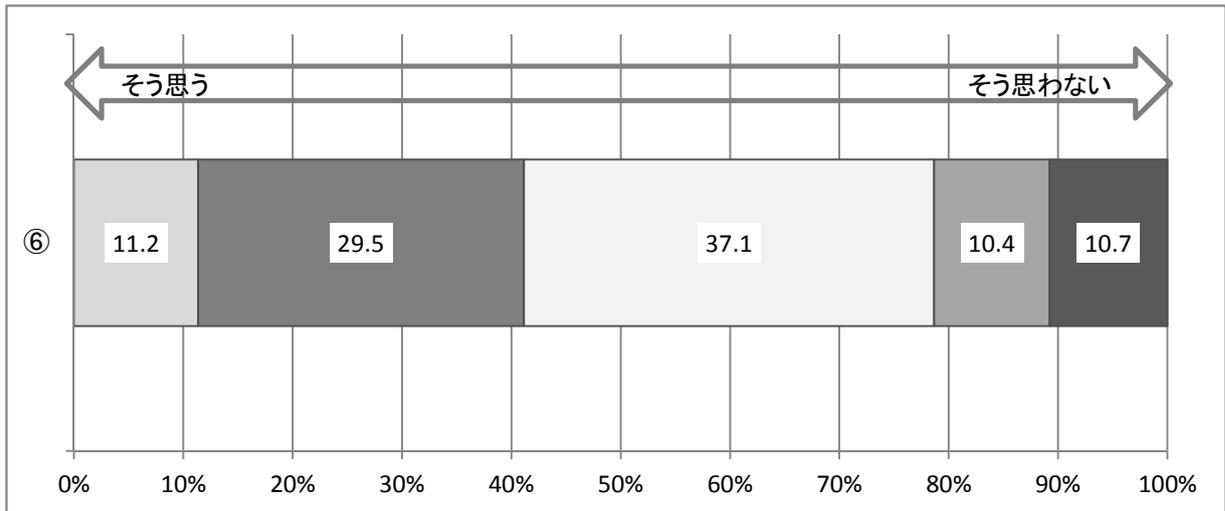
▲「そう思う」主な理由

- ・廃棄物・し尿処理施設、上下水道などの整備が進み、生活環境が良くなった。
- ・井戸水から水道に変わり、生活の根源である水の安全、安心が保障されたことで生活環境が格段に良くなった。
- ・水道料金が下がった。
- ・水道水について広島県と用水供給協定が結ばれた。
- ・道路がきれいに整備され、ゴミも落ちていないためスムーズに通れるようになった。
- ・新たな道路整備により、移動距離が短くなった。
- ・交通インフラの整備により、遠出の際や帰りが遅くなった場合でも安心して帰れるようになった。
- ・山間部の地籍調査が進むようになった。

▼「そう思わない」主な理由

- ・中心地以外の人口の少ない地域では、整備計画も出ておらず、生活環境は良くなっていない。
- ・地域間を結ぶ幹線道路の整備や市道の改良が進んでいない。
- ・道路の維持管理やガードレール設置等の安全対策が十分に進んでいない。
- ・上水道についても、整備が不十分で、ろ過・減菌処理されていない谷川の水を飲んでいる地域の人もいるため、簡易水道の拡大整備が必要である。
- ・公共下水道の整備が行われ、引き込み期限が過ぎているにもかかわらず、市が勧誘の努力をしていない。また引き込んでいない一般家庭の浄化槽の水質検査が不十分なため、汚水がそのまま農業用水路等に流れ出し、不衛生である。
- ・ゴミステーションの設置が以前と比較して難しくなった。
- ・廃棄物・し尿処理施設・上下水道など進んでいない。し尿処理の汲み取り料金については、料金が以前より高くなった。

⑥ 市町の区域が広がったことにより、文化・スポーツなどで住民相互の交流が広がった



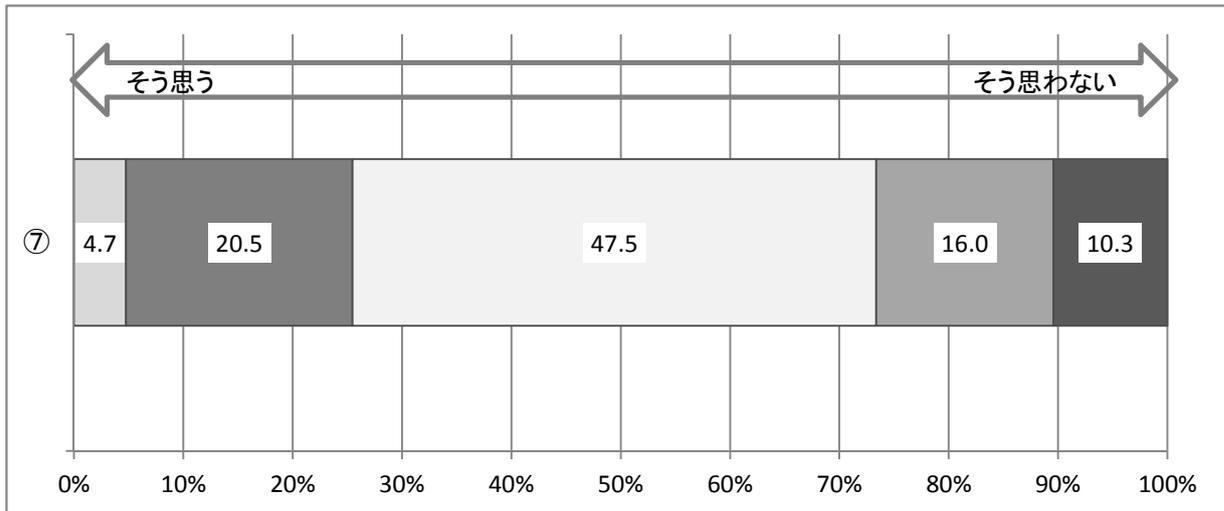
▲「そう思う」主な理由

- ・今迄になかった相互交流と幅広い仲間でき、お互いのコミュニケーションがとれ、親近感が強くなった。
- ・住民運動会などを通して今まで別の自治体の住民であった方々と一緒に取り組んでいるという印象を受けている。今後も大いに交流を深めて、協力し合って新市の活性化に取り組んでいきたい。
- ・自治体の大会の参加区域が広がり、楽しい交流ができる。
- ・老友会間の交流が出来、スポーツ、文化面での活動が活発になった。
- ・元々子どものスポーツなどでは市域に関係なく交流していたと思うが、活動内容や大会結果などがケーブルテレビによって紹介され、更に広がりをもつようになった。

▼「そう思わない」主な理由

- ・少子化により文化・スポーツの住民交流が減った気がする。
- ・周辺部では、高齢者は移動のための交通機関もなく、さらに交流がなくなっている。
- ・合併前のほうが、規模は小さいが充実していた。
- ・一部の地域に限られており、人口の少ない地区については、まったく変わらない。
- ・区域が広がったため、住民相互の交流が少なくなった。

⑦ 地域の自主的・主体的な住民活動やコミュニティづくりが進んだ



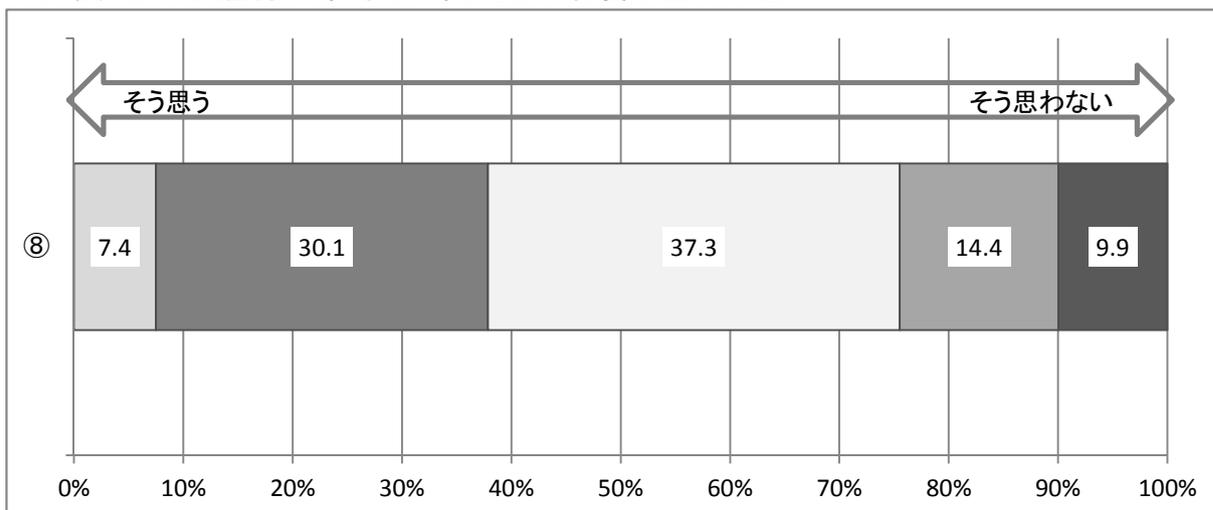
▲「そう思う」主な理由

- ・各自治会の活動により地域の自主的、主体的な住民活動やコミュニティが進み向上している。
- ・各地区のまちづくり協議会(住民自治活動)が進んでいる。
- ・自助・共助が地域にめばえたように感じる。(震災の避難訓練、警報器の設置世帯の調査と勧奨)
- ・窓口が遠くなった分、地域の事を自分たちで答えを出し、解決方法を考えるように多少なったと思う。
- ・自治会・老人会活動は未だ一体的な活動が出来ていない。
- ・コミュニティづくりは進んでいるが、特にマンションの住人等の町内会に入らない住民をいかにするかが課題である。

▼「そう思わない」主な理由

- ・住民の民主主義の意識が低いため、行政任せや他人任せになっており自主的で主体的な住民活動やコミュニティづくりが出来ていないように思う。各自治会で独自に自主的に主体的に住民自らが考えて作り出す努力をしていくことが必要だと思う。
- ・時代の流れかもしれないが、合併後は住民同士の関係が薄くなったように思う。
- ・地域が寂れていくため、地域の人々の心までもが貧しくなっていくように感じる。
- ・コミュニティが広がり、つながりが疎遠になった。活動は乏しくなったと思う。
- ・大きくなったことで以前より住民活動、コミュニティ作りは薄くなったように感じる。
- ・地域の住民活動は年々低下している。清掃(川等)にも老人ばかりで若者の参加はない。自治会に入る若者も年々減っている。
- ・地域の自主的主体的、住民活動、コミュニティづくり等、前進したとを感じる場がない。むしろ合併前の方があったのではなかろうか。
- ・若者はどんどん街に出て行き、残された高齢者のみでの住民活動は出来にくい。
- ・一部住民活動が活発になったところもあるが、地域の自主性に任された結果、十分に機能していないところが多い。
- ・学校の統廃合が起き、周辺地域では少子化から以前のような活気もない。廃校後の校舎を地域活性化に使うと考えたが、備品の整理や施設の整備が終了しておらず利用させてもらえない。地域としては出鼻をくじかれたように感じている。
- ・効果が合併によるものなのが見えない。

⑧ 観光資源や特産物などの地域資源が増えるなど、自分の市町の一体感が醸成され、イメージが良くなった(自分の市町の全国的な知名度が上がった)



▲「そう思う」主な理由

- ・特産品等のアピールできるものが増え、テレビなどマスコミに取り上げられることも増えた。
- ・文化的・歴史的施設等の観光資源の総量が合併によって増えたため、新自治体の観光図の内容が豊富になった。
- ・地域おこしの取組みとして、子ども達が心身ともに豊かで健やかに育ってくれることを祈るお祭りも7回を重ね年々多くの方々が見学に訪れてもらえるようになった。地区民が自ら動くことによって、地域を活性化できたように思う。
- ・各地の特産物が近くで買えるようになって環境が良くなった。
- ・同じ自治体と思うことでこれまでより特産品などに対しても力が入る。色んな面で交流が広がっている。
- ・連合自治会の理事会で毎月顔を合わすようになり、情報交換ができるようになった。
- ・観光資源や特産物が全国的知名度が上がり、よく新自治体の名前を聞くようになった。
- ・農林水産物で県下1位の品目が出来たが、JAが複数あるのは今後の課題であり、合併への働きかけをしてほしい。

▼「そう思わない」主な理由

- ・大きな自治体と合併したことで、旧町村の特産物や観光資源にマイナスイメージがついたり、PR力が弱くなったように思う。また旧町村ではあった明確なまちづくりのコンセプトも合併によってぼやけてしまった。
- ・地名が変わったことで連想されづらくなっているように感じる。合併以前にはあったその地域へのイメージが消えたように思う。
- ・新自治体の名前が良くない。
- ・旧市町村で行っていた行事が名目上は新市町に引き継がれたが、実態は旧市町村単位で相変わらず行われている。合併後の市町単位での行事を行いたい。

(2) (1)以外の、現れている合併の効果、期待していたが現れていない合併の効果及び合併により生じた課題

(現れている合併の効果)

- ・財政が健全化された。議員、職員数の削減による経費削減がなされた。
- ・合併に伴う職員交流によって対応が良くなった部署がある。国や県への派遣も継続的に行われており、職員の質の向上が期待できる。
- ・効率的な行政運営が可能になり、サービスの多様化、高度化に繋がった。
- ・合併特例債の活用により、様々な施設等の整備が進んだ。
- ・地域づくり等に対する交付金制度は効果があったと思う。
- ・道路、上下水道、学校施設や備品または学校給食の開始、農業関連施設、CATV施設、庁舎等スケールメリットを活かした社会資本整備が進んだ。
- ・福祉、情報、特産品支援、災害対応などについて一本化された。
- ・合併による広域化に伴い、同じ情報を共有できる人口が増え、情報格差が解消された。
- ・広報等の充実により行政の取組みが周知され、地域との連携が上手くいくようになった。
- ・旧市町村単位でのそれぞれの組織の長短比較ができ、より良い方向を模索できている。
- ・商工会の合併により、祭りで行う花火の規模が毎年盛大になって行っている。
- ・ムラ意識や縄張り意識が薄れ、一体感が生まれてきたように思う。地域間の格差も減った。
- ・合併により、従来の地域での生活環境を意識するようになり、地域毎の協働性が高まった。
- ・ゴミ収集や分別、処理の方法などが改善された。
- ・名前が変わることでイメージアップになった。相手に地名が伝わるようになった。
- ・人口流出が進んで緑が増え、野生の動物が増えて保護団体が喜んでいる。林道の管理が出来なくなり山にゴミを捨てる量が減った。
- ・特に効果はない。吸収合併の場合、元々中心部に住んでいる人の生活には変化がない。

(期待していたが現れていない合併の効果)

- ・地域の交流がなく、一体感も生まれていない。
- ・人口減少の緩和、地元産業の発展、定住促進などを期待したが、効果が出ていない。
- ・合併により、中心部との距離が近くなると思っていたが、逆に遠くなったように感じる。
- ・議員や職員の削減、行政のスリム化が不十分。経費削減効果が出ていない。税金や公共料金が高い。
- ・行政サービスの向上や、職員の質や意識の向上を期待したが、変化がないか悪くなった場合もある。本庁に行かなければならない窓口業務もあり、不便である。支所については、住民サービスを低下させないため機能充実を図ることが合併前約束されていたはずだが、空洞化され、住民サービスの維持向上には繋がっていない。広報機能についても、もっと充実させてほしい。
- ・病院や児童館等の期待されていた公共施設の建設が進んでいない。また、従来の施設、インフラ等の管理、整備についても遅れている。スポーツ施設等も有効利用されていない。
- ・公共交通について拡充が期待されたが、逆に縮減していたり、整備が遅れたりしている。
- ・信号機の取り換えや交通量増加に対応するための道路整備が進んでいない。
- ・ゴミ収集の方法が統一されていない。ゴミ処理場の整備が杜撰。
- ・首長の出身地偏重の政策となってしまっている。
- ・新自治体全体のバランス良い発展がなされていない。周辺部は道路整備や医療、福祉、防災面等不可欠な分野での取り組みも遅れている。中山間地域の活性化も進んでいない。
- ・タウンミーティングを行っているが地域要望事項が多いためか、十分な説明はあるが合併で広範囲にわたるものがあり、その実効性のある結果は見当たらない。
- ・地元の総合病院が、合併後相当不便になった。現在は近隣の開業医に頼っている。
- ・保健師のケア等、認知症でも暮らせる地域づくりを目指しているが、効果が出ていない。
- ・森林環境や樹木の管理等専門の指導者がいない。
- ・地域の特色を活かした取組がなされていないように思う。
- ・市道の整備について、小規模なへこみなどではなかなか対応してくれなくなった。
- ・合併による地域のイメージアップができていない。

### (合併により生じた課題)

- ・合併前の体制が未だに残っている。新自治体の一体感がない。
- ・患者が中心部の総合病院に集中するようになり、十分な対応ができなくなっている。
- ・救急医療の体制がおろそかになっているように感じる。また合併により、夜間救急病院が遠くなり、場所がわからないことも多くなった。
- ・支所の空きスペースの有効利用をもっと考えるべきであろう。
- ・働いて定住できる環境がない。特に若者の雇用確保、定住促進が課題である。
- ・合併特例債目当ての駆け込み公共事業が多く、合併後の負債額が膨大になっている。
- ・周辺部でも事業等投資を行わなければならなくなり、反って中心部の発展が遅れた。
- ・似たような目的の施設が併存しており、経費削減の観点から統廃合が必要だと思われる。
- ・かつては商工会を中心に地域の祭りが行われていたが、合併後は商工会が手を引くなど、地域の公共機関、団体等が市町村合併の結果地域性を失ってしまったように思う。
- ・地域産品が、合併市産と表記が変わったなど、地域の特徴が薄れてしまったように思う。(島嶼部など)
- ・合併前は町道、農道の草刈等、きちんと管理が行われていたが、合併後は疎かになっている。集落間を結ぶ道路の管理も以前より悪くなっている。
- ・公共施設が有料化され、利用しづらくなった。
- ・議員が自分の出身地域を第一に考えるため、合併自治体全体を考えた政治になっていない。

### (3) 行政サービスに関する合併の効果

#### (3) -1 期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価

上段:人数(人)下段:割合(%)

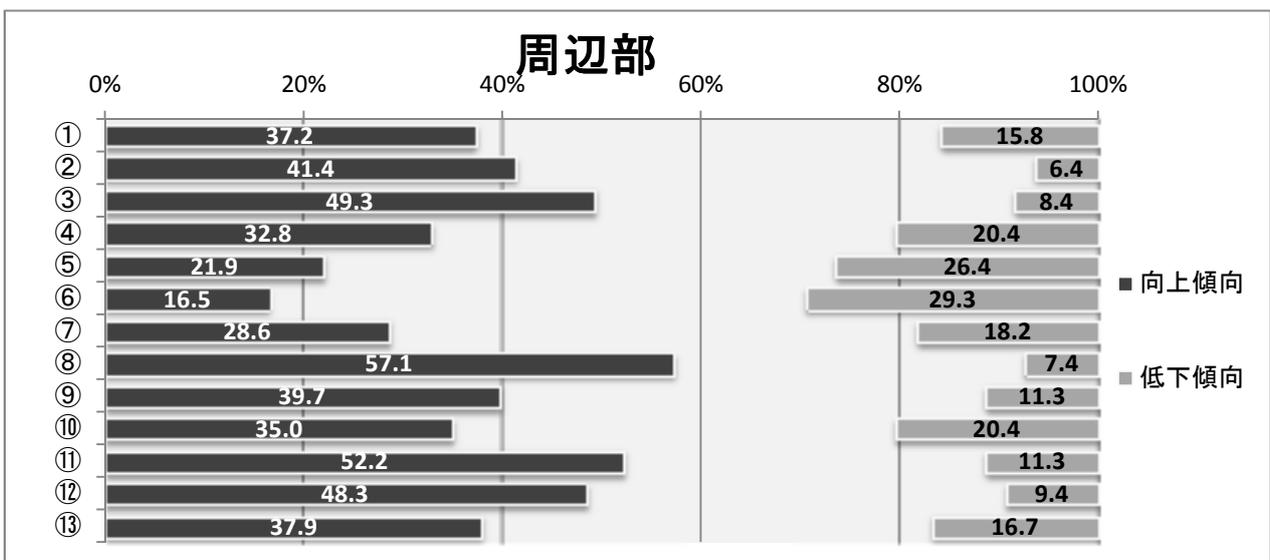
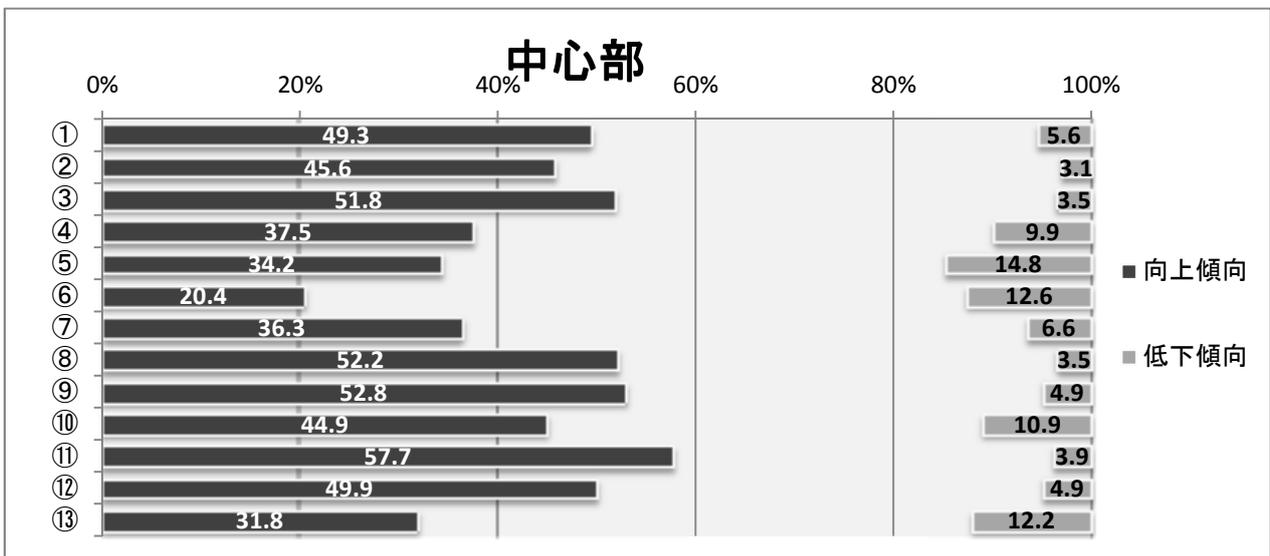
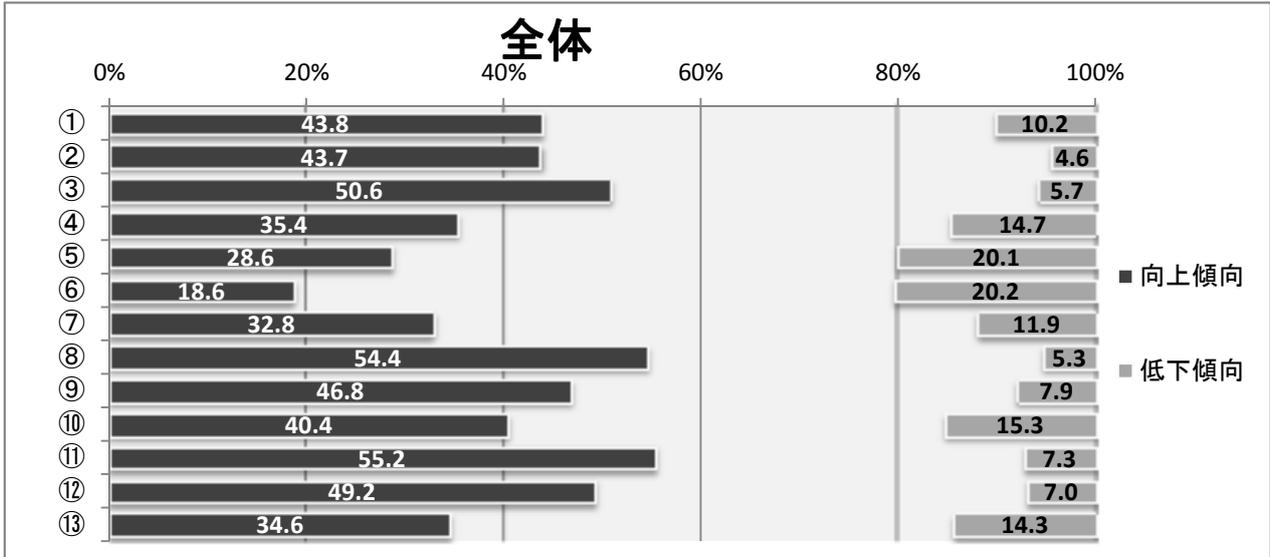
行政サービスの分野	向上している	やや向上している	どちらかと言えば向上している	どちらとも 言えない	どちらか と言えば低下している	やや低下している	低下している	向上傾向	順位	低下傾向	順位
①住民窓口・住民相談 (窓口サービスの迅速化、専門的な相談の充実など)	68	141	181	388	50	16	25	390	6	91	7
	7.6	15.8	20.3	43.5	5.6	1.8	2.8				
②子育て支援 (子育て支援センターの充実、保育所の延長保育、保育料の負担軽減、学童保育の延長など)	54	119	216	414	18	10	13	389	7	41	13
	6.1	13.4	24.2	46.5	2.0	1.1	1.5				
③高齢者・障害者等の福祉 (高齢者見守り事業、福祉タクシー、障害者各種助成事業の充実など)	54	133	264	360	33	7	11	451	3	51	11
	6.1	14.9	29.6	40.4	3.7	0.8	1.2				
④地域医療・保健 (休日夜間救急、妊産婦検診、健康診断の内容充実など)	38	80	197	411	73	14	44	315	9	131	4
	4.3	9.0	22.1	46.1	8.2	1.6	4.9				
⑤商工業・観光の振興 (産業振興センター、企業誘致、各種助成、観光施策の充実など)	20	63	172	428	104	34	41	255	12	179	2
	2.2	7.1	19.3	48.0	11.7	3.8	4.6				
⑥農業・林業・水産業の振興 (生産者への指導・相談・育成、各種助成の充実など)	13	40	113	513	107	28	45	166	13	180	1
	1.5	4.5	12.7	57.6	12.0	3.1	5.1				
⑦教育・文化 (学校での相談体制の充実、伝統芸能の支援、生涯学習講座、スポーツ大会の開催など)	25	85	182	463	64	22	20	292	11	106	6
	2.8	9.5	20.4	52.0	7.2	2.5	2.2				
⑧ごみ収集・処理、環境・衛生 (分別収集、リサイクルへの取組、廃棄物処理施設等の整備など)	74	147	264	335	27	10	10	485	2	47	12
	8.3	16.5	29.6	37.6	3.0	1.1	1.1				
⑨上下水道の整備 (浄水場・排水管の整備、下水処理施設・排水管・浄化槽の整備など)	73	129	215	380	43	7	20	417	5	70	8
	8.2	14.5	24.1	42.6	4.8	0.8	2.2				
⑩道路、公共施設の整備 (道路、学校、図書館、スポーツ施設の整備など)	52	104	204	373	77	25	34	360	8	136	3
	5.8	11.7	22.9	41.9	8.6	2.8	3.8				
⑪防災・危機管理 (防災行政無線の整備、消防署や消防団の充実など)	84	158	250	309	37	12	16	492	1	65	9
	9.4	17.7	28.1	34.7	4.2	1.3	1.8				
⑫地域情報通信網の整備 (CATV、光ファイバー、住民情報システムの充実など)	80	122	236	360	36	10	16	438	4	62	10
	9.0	13.7	26.5	40.4	4.0	1.1	1.8				
⑬公共交通機関の確保等 (コミュニティバスの運行など)	39	81	188	428	67	26	34	308	10	127	5
	4.4	9.1	21.1	48.0	7.5	2.9	3.8				

※「向上傾向」＝「向上している」＋「やや向上している」＋「どちらかと言えば向上している」  
 ※「低下傾向」＝「低下している」＋「やや低下している」＋「どちらかと言えば低下している」

○中心部・周辺部別集計(それぞれの総回答者数に対する割合)

単位:%		向上している	やや向上している	どちらかと言えば向上している	どちらとも言いえない	どちらかと言えば低下している	やや低下している	低下している	向上傾向	順位	低下傾向	順位
中心部	①	9.1	18.6	21.6	41.9	3.1	1.6	0.8	49.3	6	5.6	7
	②	6.4	15.1	24.1	45.8	1.2	0.8	1.0	45.6	7	3.1	13
	③	6.8	16.5	28.5	40.4	2.3	0.6	0.6	51.8	4	3.5	11
	④	5.2	8.9	23.5	48.0	5.8	1.2	2.9	37.5	9	9.9	5
	⑤	3.5	9.1	21.6	46.6	8.7	2.7	3.5	34.2	11	14.8	1
	⑥	1.9	5.4	13.2	62.3	8.2	1.6	2.7	20.4	13	12.6	2
	⑦	3.7	10.3	22.3	52.4	3.7	1.6	1.2	36.3	10	6.6	6
	⑧	7.2	16.9	28.0	40.2	2.1	0.8	0.6	52.2	3	3.5	11
	⑨	8.7	17.3	26.8	38.6	3.5	0.4	1.0	52.8	2	4.9	8
	⑩	6.4	14.6	23.9	40.6	6.8	1.6	2.5	44.9	8	10.9	4
	⑪	9.7	19.2	28.9	34.4	1.4	1.4	1.0	57.7	1	3.9	10
	⑫	9.3	14.4	26.2	41.2	2.7	1.0	1.2	49.9	5	4.9	8
	⑬	4.3	8.9	18.6	52.0	6.8	2.5	2.9	31.8	12	12.2	3
周辺部	①	5.9	12.6	18.7	45.6	8.6	2.0	5.2	37.2	8	15.8	7
	②	5.7	11.3	24.4	47.3	3.0	1.5	2.0	41.4	5	6.4	13
	③	5.2	13.1	31.0	40.4	5.4	1.0	2.0	49.3	3	8.4	11
	④	3.2	9.1	20.4	43.8	11.1	2.0	7.4	32.8	10	20.4	4
	⑤	0.7	4.7	16.5	49.8	15.3	5.2	5.9	21.9	12	26.4	2
	⑥	1.0	3.4	12.1	52.0	16.5	4.9	7.9	16.5	13	29.3	1
	⑦	1.7	8.6	18.2	51.5	11.3	3.4	3.4	28.6	11	18.2	5
	⑧	9.6	16.0	31.5	34.5	4.2	1.5	1.7	57.1	1	7.4	12
	⑨	7.6	11.1	20.9	47.5	6.4	1.2	3.7	39.7	6	11.3	8
	⑩	5.2	8.1	21.7	43.3	10.8	4.2	5.4	35.0	9	20.4	3
	⑪	9.1	16.0	27.1	35.0	7.4	1.2	2.7	52.2	2	11.3	9
	⑫	8.6	12.8	26.8	39.4	5.7	1.2	2.5	48.3	4	9.4	10
	⑬	4.4	9.4	24.1	43.3	8.4	3.4	4.9	37.9	7	16.7	6

# ○グラフ

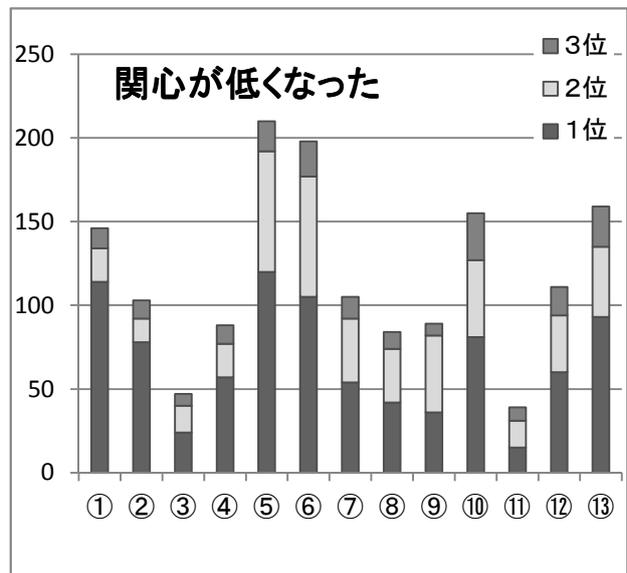
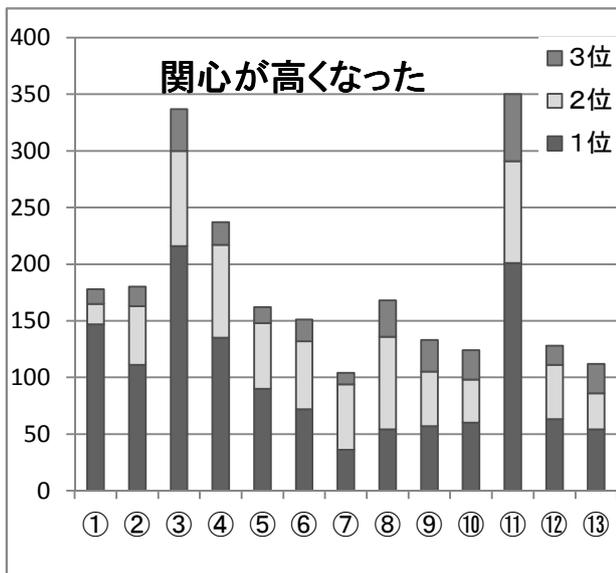


(3) -2合併前と比べ「関心が高くなった」、「関心が低くなった」行政サービス

上段:回答数

下段:得点(1位:3、2位:2、3位:1)

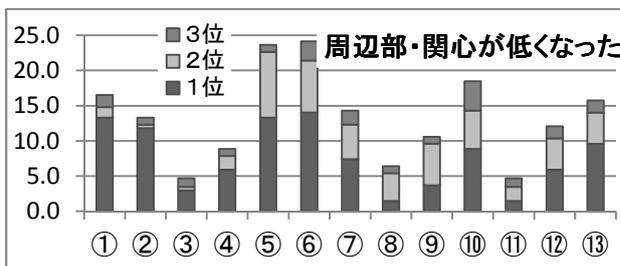
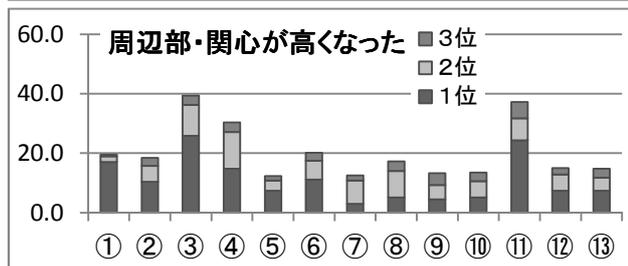
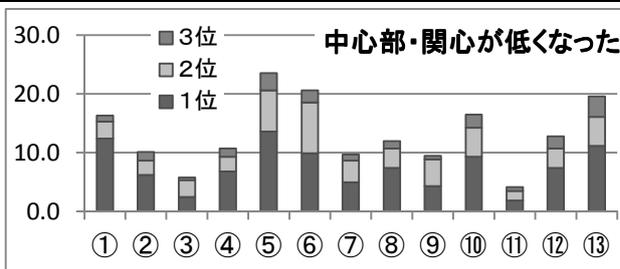
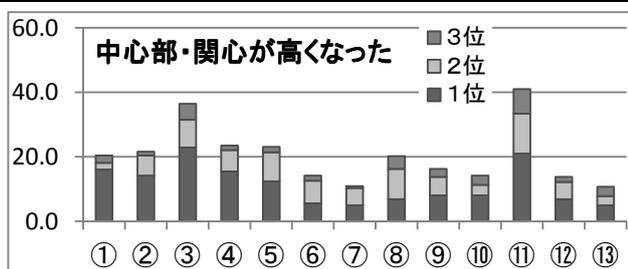
行政サービスの分野	関心が高くなった					関心が低くなった				
	1位	2位	3位	合計	得点順位	1位	2位	3位	合計	得点順位
①住民窓口・住民相談 (窓口サービスの迅速化、専門的な相談の充実など)	49	9	13	71		38	10	12	60	
	147	18	13	178	5	114	20	12	146	5
②子育て支援 (子育て支援センターの充実、保育所の延長保育、保育料の負担軽減、学童保育の延長など)	37	26	17	80		26	7	11	44	
	111	52	17	180	4	78	14	11	103	8
③高齢者・障害者等の福祉 (高齢者見守り事業、福祉タクシー、障害者各種助成事業の充実など)	72	42	37	151		8	8	7	23	
	216	84	37	337	2	24	16	7	47	12
④地域医療・保健 (休日夜間救急、妊産婦検診、健康診断の内容充実など)	45	41	20	106		19	10	11	40	
	135	82	20	237	3	57	20	11	88	10
⑤商工業・観光の振興 (産業振興センター、企業誘致、各種助成、観光施策の充実など)	30	29	14	73		40	36	18	94	
	90	58	14	162	7	120	72	18	210	1
⑥農業・林業・水産業の振興 (生産者への指導・相談・育成、各種助成の充実など)	24	30	19	73		35	36	21	92	
	72	60	19	151	8	105	72	21	198	2
⑦教育・文化 (学校での相談体制の充実、伝統芸能の支援、生涯学習講座、スポーツ大会の開催など)	12	29	10	51		18	19	13	50	
	36	58	10	104	13	54	38	13	105	7
⑧ごみ収集・処理、環境・衛生 (分別収集、リサイクルへの取組、廃棄物処理施設等の整備など)	18	41	32	91		14	16	10	40	
	54	82	32	168	6	42	32	10	84	11
⑨上下水道の整備 (浄水場・排水管の整備、下水処理施設・排水管・浄化槽の整備など)	19	24	28	71		12	23	7	42	
	57	48	28	133	9	36	46	7	89	9
⑩道路、公共施設の整備 (道路、学校、図書館、スポーツ施設の整備など)	20	19	26	65		27	23	28	78	
	60	38	26	124	11	81	46	28	155	4
⑪防災・危機管理 (防災行政無線の整備、消防署や消防団の充実など)	67	45	59	171		5	8	8	21	
	201	90	59	350	1	15	16	8	39	13
⑫地域情報通信網の整備 (CATV、光ファイバー、住民情報システムの充実など)	21	24	17	62		20	17	17	54	
	63	48	17	128	10	60	34	17	111	6
⑬公共交通機関の確保等 (コミュニティバスの運行など)	18	16	26	60		31	21	24	76	
	54	32	26	112	12	93	42	24	159	3



○ 中心部・周辺部別集計(それぞれの総回答者数に対する割合)

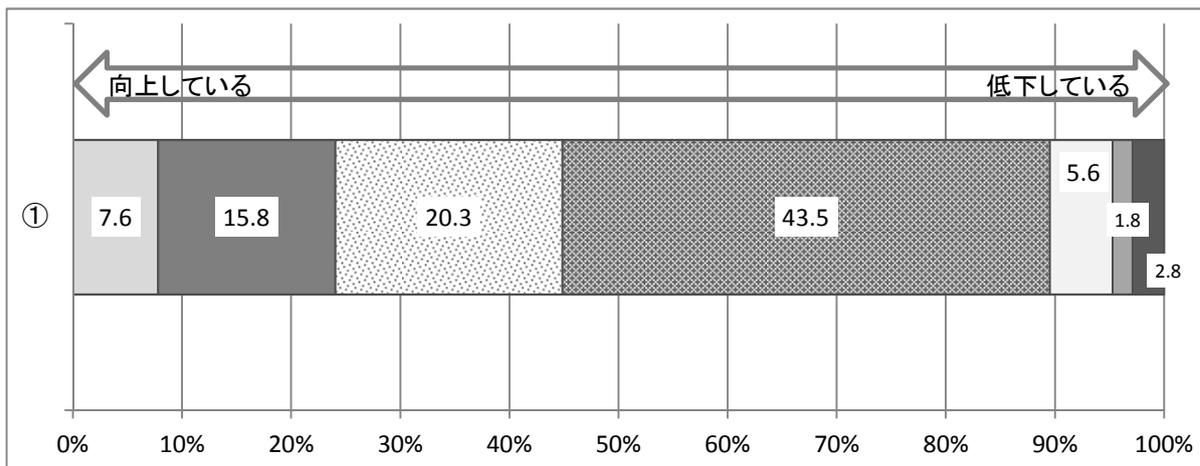
※得点は1位が3点、  
2位が2点、3位が1点

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
中心部	関心が高くなった	1位	5.4	4.7	7.6	5.2	4.1	1.9	1.6	2.3	2.7	2.7	7.0	2.3	1.6
		2位	1.0	3.1	4.3	3.3	4.5	3.5	2.7	4.7	2.9	1.6	6.2	2.7	1.4
		3位	2.3	1.2	4.9	1.4	1.6	1.6	0.6	3.9	2.5	2.9	7.6	1.6	2.9
		得点	20.4	21.6	36.5	23.5	23.1	14.2	10.9	20.2	16.3	14.2	41.0	13.8	10.7
		順位	6	5	2	3	4	10	12	7	8	9	1	11	13
	関心が低くなった	1位	4.1	2.1	0.8	2.3	4.5	3.3	1.6	2.5	1.4	3.1	0.6	2.5	3.7
		2位	1.4	1.2	1.4	1.2	3.5	4.3	1.9	1.6	2.3	2.5	0.8	1.6	2.5
		3位	1.0	1.4	0.4	1.4	2.9	2.1	1.0	1.2	0.6	2.3	0.6	2.1	3.5
		得点	16.3	10.1	5.8	10.7	23.5	20.6	9.7	12.0	9.5	16.5	4.1	12.8	19.6
		順位	5	9	12	8	1	2	10	7	11	4	13	6	3
周辺部	関心が高くなった	1位	5.7	3.4	8.6	4.9	2.5	3.7	1.0	1.7	1.5	1.7	8.1	2.5	2.5
		2位	1.0	2.7	5.2	6.2	1.7	3.2	3.9	4.4	2.5	2.7	3.7	2.7	2.2
		3位	0.5	2.7	3.2	3.2	1.5	2.7	1.7	3.2	3.9	3.0	5.4	2.2	3.0
		得点	19.5	18.5	39.4	30.3	12.3	20.2	12.6	17.2	13.3	13.5	37.2	15.0	14.8
		順位	5	6	1	3	13	4	12	7	11	10	2	8	9
	関心が低くなった	1位	4.4	3.9	1.0	2.0	4.4	4.7	2.5	0.5	1.2	3.0	0.5	2.0	3.2
		2位	0.7	0.2	0.2	1.0	4.7	3.7	2.5	2.0	3.0	2.7	1.0	2.2	2.2
		3位	1.7	1.0	1.2	1.0	1.0	2.7	2.0	1.0	1.0	4.2	1.2	1.7	1.7
		得点	16.5	13.3	4.7	8.9	23.6	24.1	14.3	6.4	10.6	18.5	4.7	12.1	15.8
		順位	4	7	12	10	2	1	6	11	9	3	12	8	5



① 住民窓口・住民相談  
 (窓口サービスの迅速化、専門的な相談の充実など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・支所では証明書等の発行が翌日になるなど本庁に比べてサービスが悪い。
- ・地域によってサービスに格差があるので改善してほしい。
- ・範囲が広くなり、何事においても、手間、時間がかかりすぎると同時に、結論が遅い。
- ・住民目線に立ったサービスを実施してほしい。住民の声を吸い上げるシステムを望む。
- ・行政サービスは、低下したとは思わないが、地域の動き、活動の中に入り込み、直接的に地域を応援する行政サービスを目指してもらいたい。
- ・支所では各課が統合されているが、本庁各課はまだ細分化されている。
- ・支所では窓口・相談に特化した機能を充実させ、迅速な判断をしてもらいたい。
- ・地区の工事申請をしても、ほとんど規定無しの回答で工事が前に進まないことが多い。
- ・支所の統廃合、職員削減に当たっては、バランスのとれたまちづくりができるよう気を配ってもらいたい。
- ・地元を良く知る人を配置してほしい。専門職員ももっと置いてほしい。
- ・地域に決裁権、予算を回してもらいたい。支所機能も充実させてほしい。
- ・横柄な態度の職員が増えたように感じられる。説明等も丁寧にわかりやすくしてほしい。
- ・要望をするのに本庁まで距離がある。
- ・本庁機能を各支所に分散させているため、用事が一か所で終わらず不便になった。
- ・公民館で事務手続きができるように等機能を充実させてもらいたい。
- ・数か月に一回でいいので、区の集会所等での相談、指導の機会がほしい。
- ・職員の笑顔が足りないと思う。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

- ・住民窓口を利用することが一番多いため。
- ・地域の人口が減っていくなかで行政サービスが今後も充実していくか関心がある。
- ・支所職員削減や人事異動等があり、窓口サービスが充実したり迅速化したとは思えない。将来的にどうなっていくのか不安である。
- ・本庁窓口は問題ないと思うが、各支所の窓口サービスは更に迅速化が必要で、処理能力の有る優秀な人材を配し、相談窓口も各支所に設け、多種多様にわたり経験豊富な人材を配置することにより、地域住民に身近な相談相手として対応してもらいたい。
- ・支所の職員減が大きいのが気になる。
- ・過疎化、高齢化の中、地域の自律化を望み、動きのにぶい地域にプレッシャーをかけようとする行政の意図を感じる。
- ・窓口サービスが充実し、迅速になったと実感している。更なる向上を希望する。
- ・近所でもサービスが受けられ、対応も親切になった。受付時間も長くなって助かっている。
- ・窓口の対応に時間がかかり、手際が悪いことが気になった。

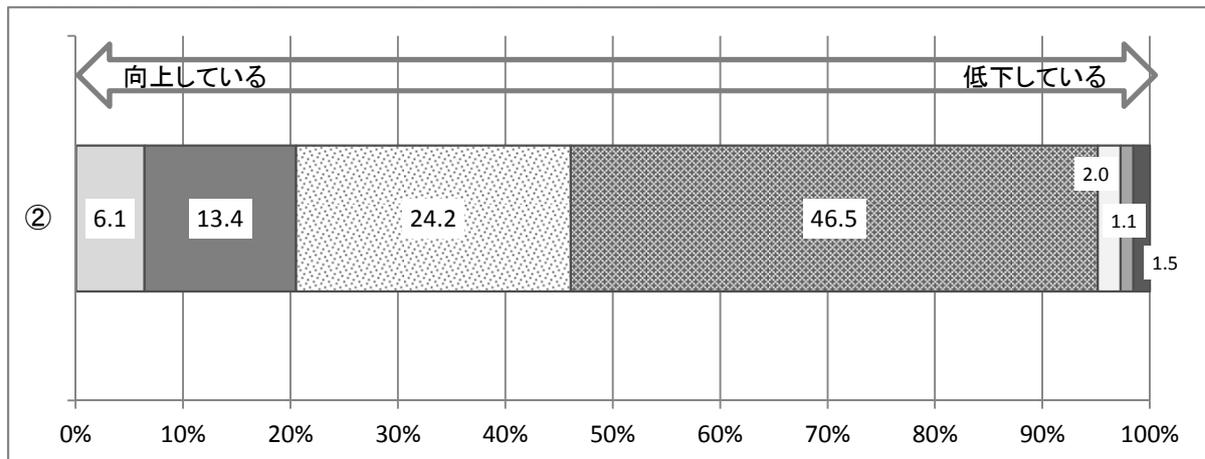
▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・窓口サービスはあまり変わっていないように思う。
- ・日常生活にさしつかえない程度には充実している。
- ・窓口に行く事があまりないため。
- ・特別なことは本庁へ行けば間に合うので心配にならない。
- ・人事異動等で他町出身者が配属されており親近感がわからない。対応も良くない。
- ・地域住民が選んだリーダーがいなくなり、職員数も減り、支所と旧役場との格差を実感している。活気とぬくもりの無い町になったように思われる。
- ・支所の雰囲気暗いし、専門的な相談が可能な人員配置ができていない。
- ・住民窓口は相談に行っても「個人情報」でとよく言われてしまうため。
- ・支所職員の減少により対応に時間がかかる。午前中のみサービスでは不便である。
- ・対応が悪い職員、高飛車な職員、地域に協力しない職員がいると、窓口の体制が良くても良いサービスにならない。
- ・県の出先機関である地方局の統廃合での不便さは大変である。少しの県への申請や書類の作成のために宇和島や大洲まで出向いて行くことも大変である。県の業務の一端を市で請け負うことはできないか。

## ② 子育て支援

(子育て支援センターの充実、保育所の延長保育、保育料の負担軽減、学童保育の延長など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



### ■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・保育園の閉鎖により困っている。若者が子育てできるまちにしてほしい。
- ・子供を預けたい時に断られてしまうのを改善してもらいたい。
- ・市内で安心して出産できるよう、産婦人科を増やしてほしい。
- ・子育てや高齢者をとりまく状況は20～30年前とは大きく異なっている。以前は家庭内でできていたことができなくなり、社会全体で支える仕組みにシフトしている。今後もそうした社会状況の変化を見極め、適切な行政サービスを展開してもらいたい。
- ・保育所・学童保育の延長、3人目の無料化、出産祝い金の創設等を行ってほしい。
- ・人口減少を防ぐため、少子化対策を最重視してほしい。若い女性が移住定住を望むよう、子供への保育、教育費、医療費等の無料化、補助金制度等を積極的に実行してほしい。
- ・保育所入園の手続き、条件、保育料、すべて厳しすぎると思う。

### ▲関心が高くなった主な理由(原因)

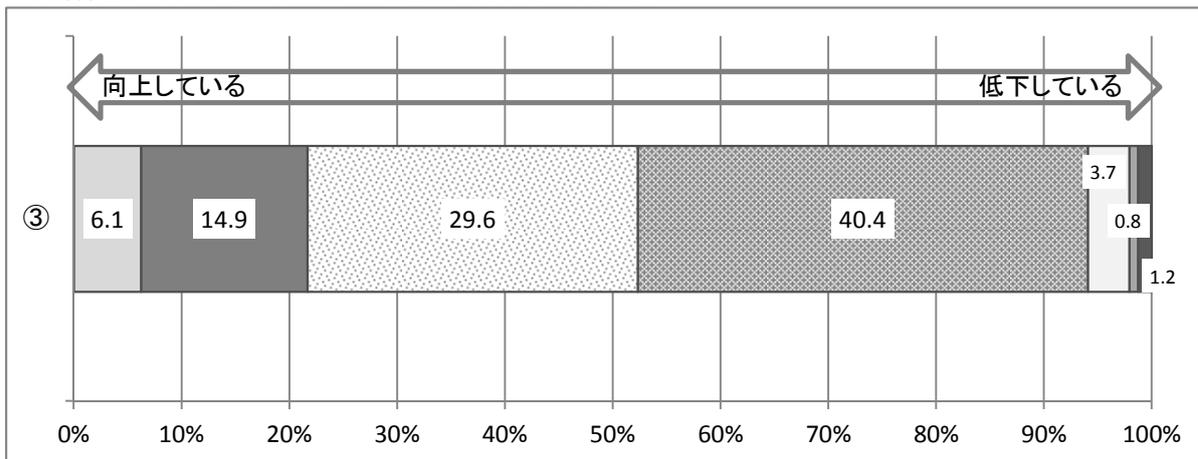
- ・少子化を防ぐために子育て支援や婚活支援の充実が重要だと思う。
- ・移住したいまちだと思ってもらうためにも子育て支援の充実は必要だと思う。
- ・人口減少が著しく、対策が必要だと思うから。
- ・地域あげて子供を大切に育てようという思いが強くなっている。行政の更なる支援を望む。
- ・孫ができて、子供の負担が少しでも軽くなれば良いと思うようになった。
- ・出産を機に関心を持った。支援策が充実していて利用もしやすい。
- ・子供が少ないので少額の予算でも効果が出せる。
- ・延長保育、学童保育の充実や保育料の負担軽減等支援が向上しているのを感じる。
- ・公園やプールの整備など子育て環境の充実も感じる。
- ・生活のため共働きを選ぶ親が増加したため。
- ・保育所等が発端で風邪等が感染することがある。

### ▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・子育てへの支援や施設のますますの充実が望まれる。
- ・子育て支援対策が遅れている。学童保育に対する施設の建設遅れ。
- ・身近に子供、子育て世帯が減ったため。
- ・直接の関わりがないため。(子供がいない、成人した、高齢だから等)
- ・人口減少にともない少子化が進み心配されていたが、昨年保育所入所児童が0となり休所となっている。
- ・非常に子供が少なく諦めている。若者が戻ってくるような魅力がない。
- ・子ども達が少なく、子育て支援サービス等の充実は実行が難しくなった。
- ・どういう活動をしているのかわからない。
- ・役割が終わったと思う。

③ 高齢者・障害者等の福祉  
 (高齢者見守り事業、福祉タクシー、障害者各種助成事業の充実など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・免許証を返還した高齢者に、タクシー割引や買い物、通院の送迎等のサービスがほしい。
- ・公共交通機関の縮小で僻地対策としてコミュニティバスの運行は高齢者には大変ありがたく、通院や買い物に利用されているが、高齢化が進むとバス利用も難しい買い物難民も多くなる心配がある。地域でのサポートや見守りを強化し、孤独にならないようにすべき。
- ・更に進行する高齢化に伴い、夢の持てるような福祉の充実を望む。
- ・高齢者、障害者の働く場所を提供してもらいたい。
- ・障害者自立支援法により、軽度の障害者は就業支援しか受けられなくなり、支援施設等に通えなくなって困っているので、以前の様に戻してもらいたい。
- ・高齢者、障害者対策の窓口を大きくして相談コーナーを設けてほしい。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

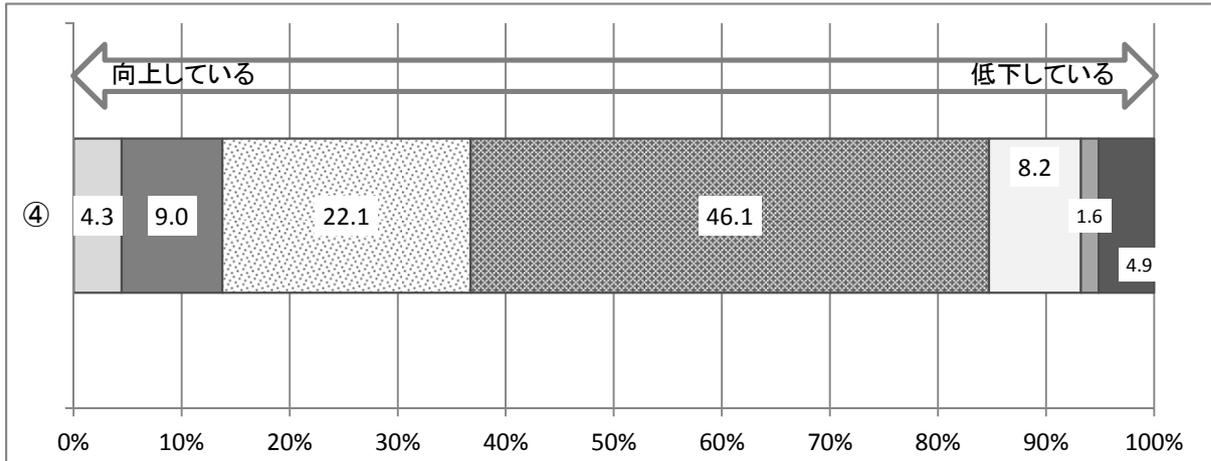
- ・自身の加齢や親の介護を通じて関心を持つ人が多い。
- ・高齢者の割合が40%を超えており、より一層の福祉の充実が求められていると感じる。
- ・社会保障費が増大する中、自治体の財政状況への圧迫が心配である。
- ・徘徊等の地域見守りが重要。市と地域が連携し対策することが必要不可欠と思われる。
- ・老々介護の実情を思うと地域で見守り、認知症等についての知識向上等研修会、講習会を行ってほしい。将来の支援者不足も心配である。
- ・寝たきり、認知症等の方が増え、どう支えていくか、皆が考えるようになったと思う。
- ・福祉タクシー等、移動手段の確保が重要であり、助かっている。
- ・独居老人が増えていく中、相談相手となる人が必要だと思う。孤独死も問題となる。
- ・施設入居待機者が多くなっている。
- ・在宅介護のサービスを中心部と同じレベルで受けられるようにしてほしい。
- ・高齢者施設は増えたが、利益優先となっている。もっと監督指導が必要だと思う。
- ・近年福祉の充実の名目の下、自助・共助・公助のあり方に変化が見受けられる。受ける側の共助・公助への依存度が高くなり、場合によっては共助・公助の過剰とも感じられる。
- ・障害者や低所得者等社会的弱者に対する支援が向上しているのかが課題だと思う。
- ・高齢者対策が旧自治体単位で大きく異なっており、行政による調整が必要だと感じる。
- ・限界集落となることが現実化する中、対策できないかと考えるようになった。

▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・若い人が少なく、高齢者の見守りが長続きしない。
- ・老人クラブに入らない人も多く、予算が、同じ人、事業にばかりに投じられていると思う。
- ・民生委員の見守りが充実していない。
- ・本庁で事務を行うため、住民サービスが低下した。
- ・敬老会への自治体の協力が、補助金、職員参加の両面で乏しい。
- ・高齢者の現状把握が不十分。民生委員との協力が必要である。

④ 地域医療・保健  
 (休日夜間救急、妊産婦検診、健康診断の内容充実など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・診療所の閉鎖により困っている。
- ・保健師さんは地域に駐在して、地元の事をもっと知ってもらうようにしてほしい。
- ・住民が安心して病院に行けるようにしてもらいたい。
- ・簡単な検査も兼ねて、献血の実施をもっと強化したら良いと思う。
- ・患者のたらいまわしをなくしてもらいたい。
- ・建設中の市立病院完成後は、医師確保により診療体制を充実し、総合病院として役割を果たしてほしい。
- ・救急患者の病院での受け入れ体制を整えてほしい。
- ・救急搬送できない曜日があるようでは困る。
- ・特に脳外科や小児科、産婦人科分野で医療過疎を感じる。
- ・県立病院が縮小され、隣の地区か隣接市まで行かなければならなくなった。
- ・医療機関の中央集中化により周辺地域の初期支援の低下を危惧する。
- ・山間集落の集会所等へのAED設置等を進めてもらいたい。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

- ・高齢者も多く、救急医療の重要性を感じる。地区外に搬送しなければならないのは問題。
- ・医師、看護師不足の解消が一向に進まず、今後も心配である。
- ・総合病院と地域の診療所等の医療機関、双方とも整備をより進めてもらいたい。
- ・市立病院で産科が廃止になるなど、子供を産むのが難しい環境になっている。
- ・夜間救急病院が合併により遠くなり、不便になった。
- ・休日でも夜間救急が対応してもらえるようになり安心感が増した。
- ・医療費増による財政圧迫が不安。健康診断等事前の予防を充実することが重要。
- ・健康診断等が充実したが、一方で申込みから時間がかかり過ぎるという問題もある。
- ・高齢化社会の進展に即し、医療や健康面の重要性を感じるようになったから。
- ・大病院が誘致され心強いが、まだ重症患者は近隣市に行っており、一層の充実を望む。
- ・僻地であり、医療機関までのアクセスに不安を感じている。
- ・AEDの設置を進めてほしい。

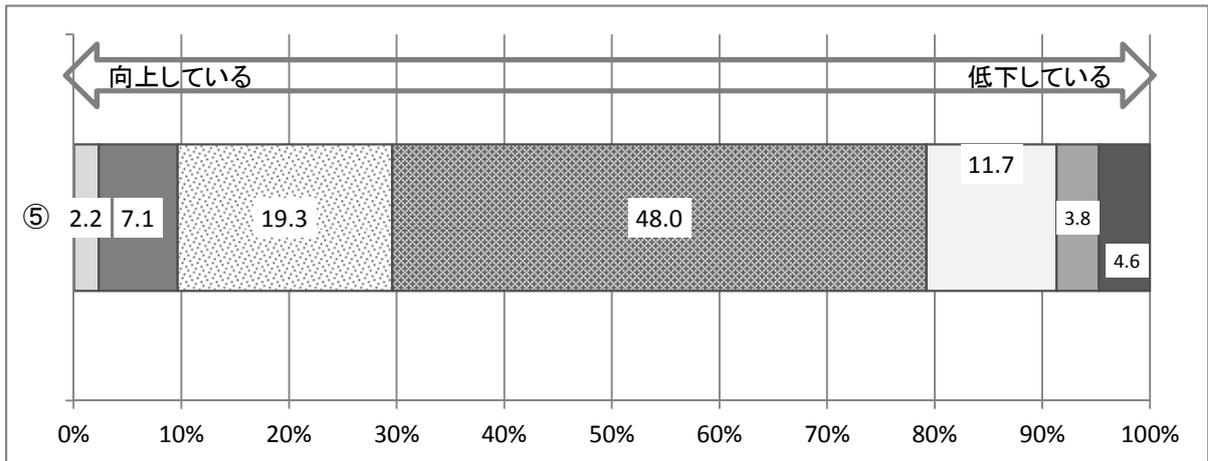
▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・地域医療が充実していない。特に医者の配置不足が問題である。
- ・夜間救急に行ったら予約の有無を聞かれたことがあり困った。
- ・診療所の不足や診療科の廃止で医療機関が遠のく感じがする。
- ・情報が少ない。特に意識していない。

⑤ 商工業・観光の振興

(産業振興センター、企業誘致、各種助成、観光施策の充実など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・財源確保のためにも、工業団地の拡充など企業を呼び込み税収を上げてほしい。
- ・観光において、既存の施設、建造物を有効利用することを考えてもらいたい。
- ・まちのアピールをする人がいないので、そのための専門課を設けてほしい。
- ・イベント等の企画等について、やりたいことが見えない。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

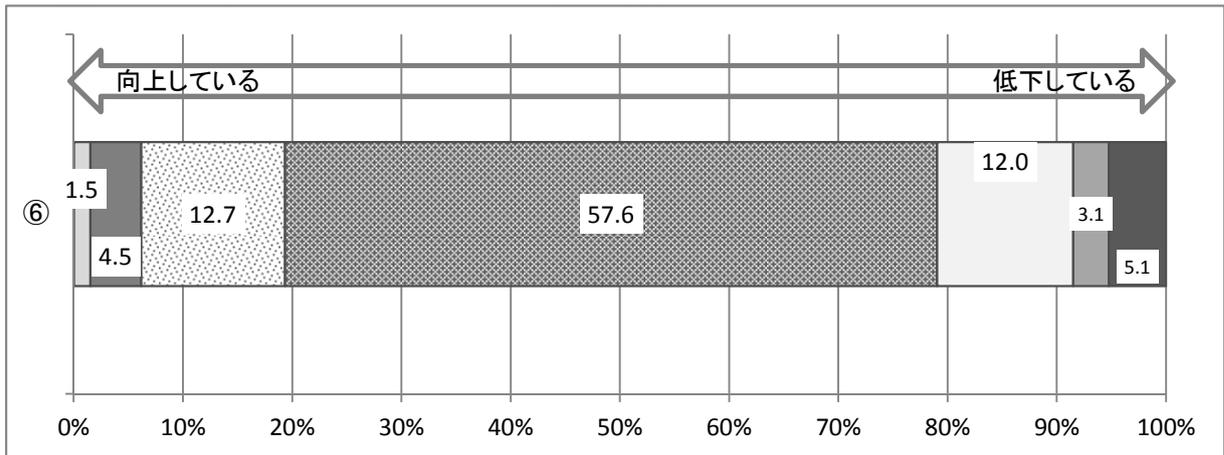
- ・産業振興、企業誘致を行い、若者が働き暮らして行こうと選択できるまちを作ってほしい。
- ・現存する地元企業の発展育成にもっと注力してほしい。
- ・行政区域が広がったことで、イベントや観光資源が増え、相乗効果を生んでいると思う。
- ・合併後に新たな観光資源が創出されたことで関心を持っている。
- ・以前は十分な観光予算がなく、施設維持のみに経費がかかっていたが、今後は地域に見合った施設整備や観光行政に期待したい。
- ・地域での消費や仕事が減っており、各地域での商工のありかたを模索したい。
- ・まだまだPR不足な観光資源がたくさんあり、可能性を感じるから。
- ・新しい商観光施設ができて賑わう一方、商店街が疲弊しているので対策が必要。
- ・保育所の時間延長はありがたいが、学童保育について自営業者に対する制約が多いと感じる。もっと公平で皆が使える制度を求める。
- ・商工会、観光協会等がバラバラで、いずれも地元住民の民意とズレていると思う。

▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・道路整備が進み、買い物客は中心市街地へ流れ、これといった観光資源もない。
- ・大型店に客足が行く様になり小売店もやる気がなくなり手も足も出ない。
- ・島嶼部で、物流面等で企業誘致は難しく、観光も一部だけで安定した期待は出来ない。
- ・産業振興センター、企業誘致、観光施策等について、何もやっていないように感じる。
- ・企業誘致以前に道路環境がいつまで経ってもよくなるらない。
- ・広域化したことにより、行政からの指導や情報提供の機会が低下している。
- ・日常生活とあまり関係がなく、特に話も聞かない。また定年後世代は雇用に関心が低い。
- ・目立った施策もなく、地域活性化に繋がらない。
- ・行政に注文をしても諦め感があり前に進まない。地域の文化行事への取組が不十分。
- ・地域住民が行う商観光イベントが、行政の助成がなくなったことで消えてしまった。
- ・地域イベントは観光協会、商工会議所等が主導のため一般住民は関心が低いと思う。
- ・地域の伝統的な祭りで実績もあるのはわかるが、助成が過大に感じる。
- ・企業誘致に財源を使うのではなく地場産業を育成してほしい。
- ・商店街等、地域に活力を感じない。改革へのアイデアを出し合える場がない。

⑥ 農業・林業・水産業の振興  
 (生産者への指導・相談・育成、各種助成の充実など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・中山間地の農業振興に力を入れてほしい。
- ・農林業の振興が遅れているが、マンパワー不足の現実をどうするか問題である。
- ・過疎化が進んではいるが、農林業で生活できるような行政支援を考えてほしい。
- ・後継者不足を解決してもらいたい。
- ・農機の買い入れ助成をしてもらいたい。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

- ・限界集落となりつつある地域での産業創出が重要になると考えるから。
- ・第一次産業が基幹産業であり、担い手の育成と収入の安定化が重要。また観光事業と合わせてより充実させることで地域の活性化につながると思う。
- ・農作物のブランド化を進め、特産品として効果を発揮しているように思う。
- ・林道の整備が不十分。人工林が整備不足であり、貯水能力の高い森林づくりが課題。
- ・荒廃地、耕作放棄地の増加が問題となっている。中山間地域の振興策が重要と思う。
- ・農業振興について金銭面の補助だけでなく、一緒に販売方法を考えるなどしてほしい。
- ・過疎化を食い止めるためにも生活を維持できるような補償を充実させてほしい。
- ・条件不利地に資金投入するよりも他にやるべき振興策があると思う。
- ・地産地消体制を作り、防災面や、地域の魅力づくりにも対応していきたい。
- ・経営を成り立たせるためにコストダウンが必須であり、そのための施策を求める。
- ・水産分野で大学との連携が上手くいっているが、不況を改善するまでは至っていない。
- ・指導者が不足している。理解の乏しい職員もいる。
- ・農漁協等と行政が共同して、効果的な施策を打ってほしい。各種助成を充実してほしい。
- ・農林業は、各団体がいち早く広域合併し施策を実施している。行政ももっと取り組むべき。

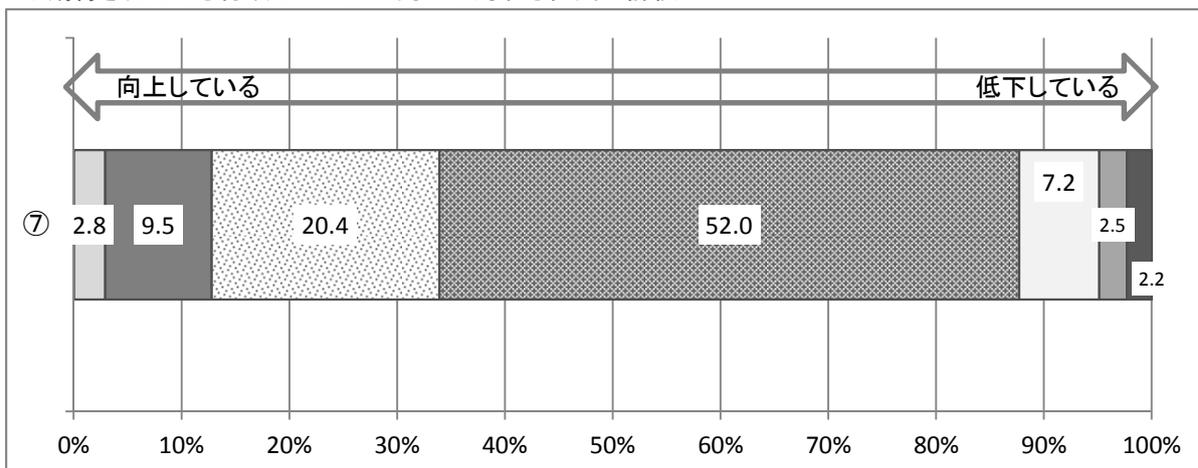
▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・各種助成の削減により農林水産業の未来が望めない。行政の後押しが見られない。
- ・「愛媛のブランド」であっても「地域のブランド」ではないので地域の特徴が発揮しづらい。
- ・末端の地域への農業担当者が減ったためサービスが低下している。
- ・TPPIにより廃業すると反対するだけでなく、積極的に新しい道を探るべきだと思う。
- ・第一次産業は国際競争力がなく対策が見えない。後継者による衰退は今後も続くと思う。
- ・地域の高齢者にこれ以上の農林業の振興は不要である。
- ・農林水産業振興のための各種助成金等は、成果が上がってないと思われ見直すべき。
- ・行政や組合等からの指導が少ない。補助事業の申請も指導がなく受けられなかった。
- ・耕作者減少に歯止めがかからないのに、十分な対策が行われず期待できなくなった。
- ・合併後、団体及び支所職員の減少と専門員の本所中心配置によりサービスが低下した。
- ・市があまり力を入れているように思えない。
- ・不況のあおりで何をしても良くならない。助成金の支払いだけではやる気は起きない。

## ⑦ 教育・文化

(学校での相談体制の充実、伝統芸能の支援、生涯学習講座、スポーツ大会の開催など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



### ■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・公民館活動、自治会活動へ補助金が少ない。
- ・義務教育施設について、安心して教育が受けられる施設整備が必要かと思われる。
- ・学校教育の向上、社会教育(特にスポーツ、健康面)の充実、地域間交流の促進に取り組んでもらいたい。
- ・スポーツ施設の整備を行ってほしい。グラウンドに小石が散らばっているのは問題。
- ・合併前に比べ周辺地区のマンパワーが低下した。地域のためにも人づくりは重要。

### ▲関心が高くなった主な理由(原因)

- ・これからの地域を担う人材づくりが必要だから。郷土愛や伝統文化への知見を育てたい。
- ・少子高齢化が進む中で今後の動向に注目しているから。
- ・地域の伝統文化について、広域となったことから関心度が高まった。
- ・学校の統合により、新校舎もでき、生徒数も増え、よりよい学習環境となったように思う。
- ・学校の統廃合はもっと積極的に進めるべきだと思う。廃校後の校舎利用も考えたい。
- ・美術、芸能関係で利用できる場所が増えるなど機会が多くなった。
- ・地元の少年スポーツクラブの活躍をきっかけに地域が関心を持つようになった。
- ・教育、文化、スポーツ施設が充実した。生涯学習の場も増やしてほしい。
- ・文化活動が盛んな自治体内の地区を参考に他の地区でも取組がされるようになった。
- ・学校の存続が地域的にも非常に重要だが、人口減少とともに学校の維持が難しくなりつつある。人口増への対策が必要だと思う。
- ・農林水産業を確たるものにするための教育、文化、行政に期待するから。
- ・文化芸術の体験事業、一流アスリートによるスポーツ教室等教育環境が充実しつつある。
- ・地域の活動において、公民館での行事等の活動が活発に行われることを重視するから。

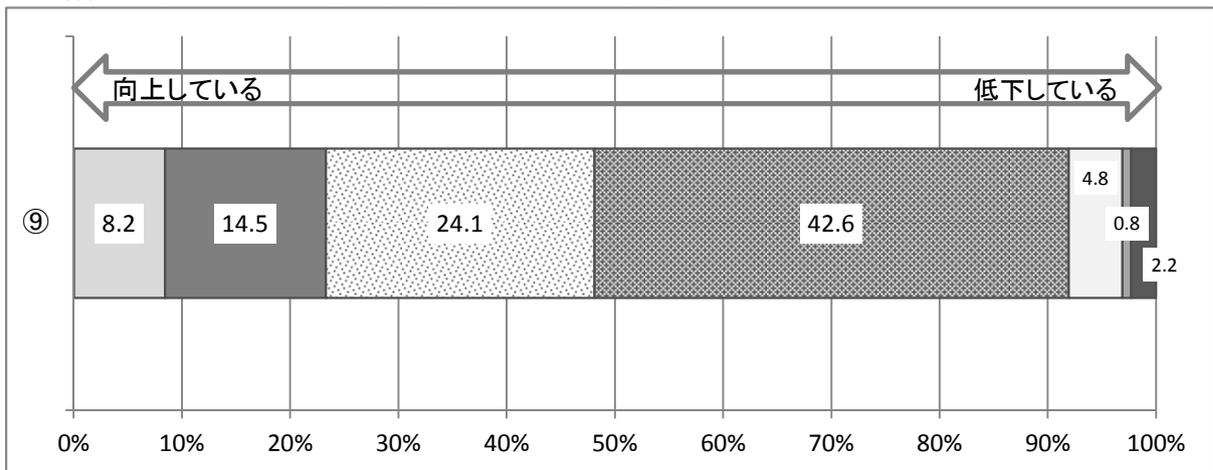
### ▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・少子化で伝統行事の継承が難しい。県外の子連れ世代が戻って地域を再興してほしい。
- ・少子化の中で、従来と同じ活動を維持する必要がないと思う。
- ・学校関係文化施設の利用を優遇してもらっていたのが合併後有料になり活動しづらい。
- ・自分に子供もいないし、統廃合により学校が遠く感じられるようになった。
- ・住民は交流には消極的であり、特に行政が推奨しているとも思えない。
- ・人口が減り、学校も統合され、何をしても人数を確保するのが困難。
- ・伝統芸能や地域の祭りや盆踊りをやれる人が減るのは寂しい。支援に注力してほしい。
- ・教育委員会など教育面での相談体制が不十分で、関心のある人は転出してしまった。
- ・文化行政、社会教育行政に予算が無い。
- ・高齢者が参加できるようなものがほとんどない。生涯学習の科目増と利便化を望む。
- ・仕事に手一杯で伝統文化やスポーツ行事等に関心を向ける暇はない。



⑨ 上下水道の整備  
 (浄水場・排水管の整備、下水処理施設・排水管・浄化槽の整備など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・旧自治体では、定期的に水路の堆積土を撤去していたが、合併後は要望しても実施されない。
- ・上下水道のコストを削減してもらいたい。
- ・地域の中心地では上水道の整備はできていると思うが、そうでないところは谷川からホースで引き込んでいる現状もあるので対策を求めたい。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

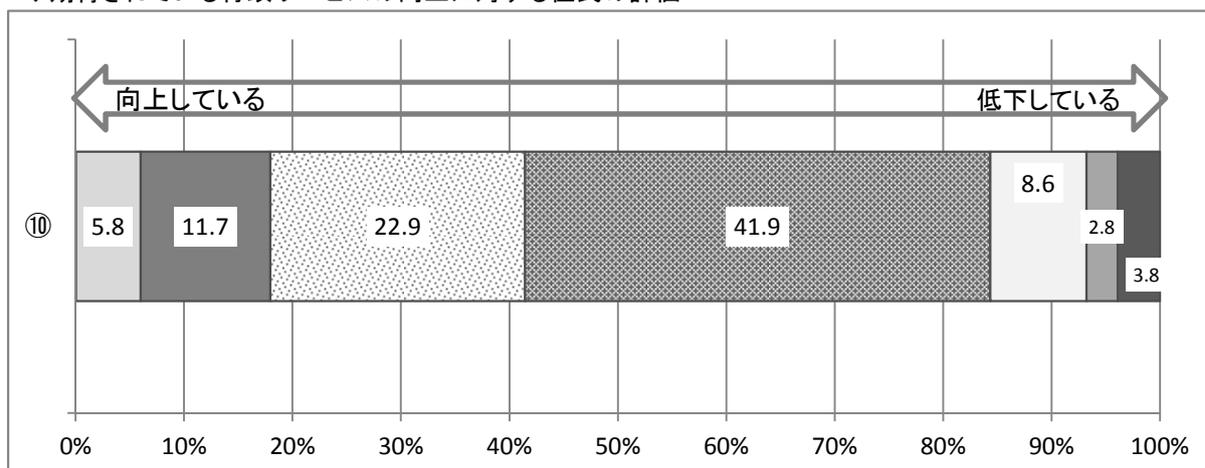
- ・より一層の整備を進めてほしい。
- ・上下水道の整備が進み生活しやすくなった。衛生面も向上し清潔な印象が持てる。
- ・使用料金が高くなった。
- ・下水道の整備が遅れている。
- ・簡易水道の整備は進んだが、地区毎の水質差もあり、上水道への切り替え策が必要。
- ・既に一定水準の上下水道が整備されている中心部をより良いものにするよりも、費用対効果が悪いとはいえ、過疎地域の上下水道の整備を進めるのが先だと思う。
- ・水路や河川がきれいになったように思う。防災面でもよく整備されている。

▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・もうかなり進んでいると思うので、以前ほどの関心はなくなった。現状で満足している。
- ・諦めている。期待できない。
- ・自分の住んでいる地域、下水道の整備が行われそうにないため。
- ・下水道整備が当初の計画どおりに実施されなくなったため。
- ・全地域での整備を期待していたのに山間部では補助金制度に留まるから。
- ・人口の多い地域の下水道整備が優先のため、人口の少ない支所周辺では遅れている。
- ・主管の整備はできても、個人の下水排水管を接続する負担が大きく普及率が上がらない。上下水整備の情報が少ないことも関心が低い理由になっている。
- ・上下水道の料金に合併の効果が現れていない
- ・今の日本国においてはちゃんとできて当たり前だと思うから。

⑩ 道路、公共施設の整備  
(道路、学校、図書館、スポーツ施設の整備など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・民間感覚の導入を昔から言われているが、行政にはできないので、後方支援に回るべきである。施設等の民間委託について、今後の運営を見守りたい。
- ・道路整備、管理をもっと進めてほしい。周辺地域では、路面の荒れた狭い道路を毎日使っており、補修や拡幅などをお願いしたい。
- ・合併市町村を一つにするためにも、橋等の通行料を市民だけでも無料にできないか。
- ・公共施設について、間口を大きく開いて、気持ちよく使えるようにしてほしい。
- ・老朽化が進んでおり、建て替えが必要だと感じる公共施設が多い。
- ・市道等の管理において、年間を通じて職員によるパトロールを強化して欲しい。
- ・主要農林道、連絡道路等の舗装(コンクリート化)及び改良により地域住民の維持管理の負担軽減が必要ではないかと思う(高齢者での草刈りは困難)。
- ・公民館等の集会施設の維持修繕等あまり手が付けられておらず、大雨時には雨漏りがする状態。災害時には安心して避難できる施設がなく、早急に対応してほしい。
- ・職員削減ばかりではなく、道路補修に早急に対応できる職員くらいは確保してほしい。
- ・住民の負担を減らすためにも指定管理者制度を利用してほしい。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

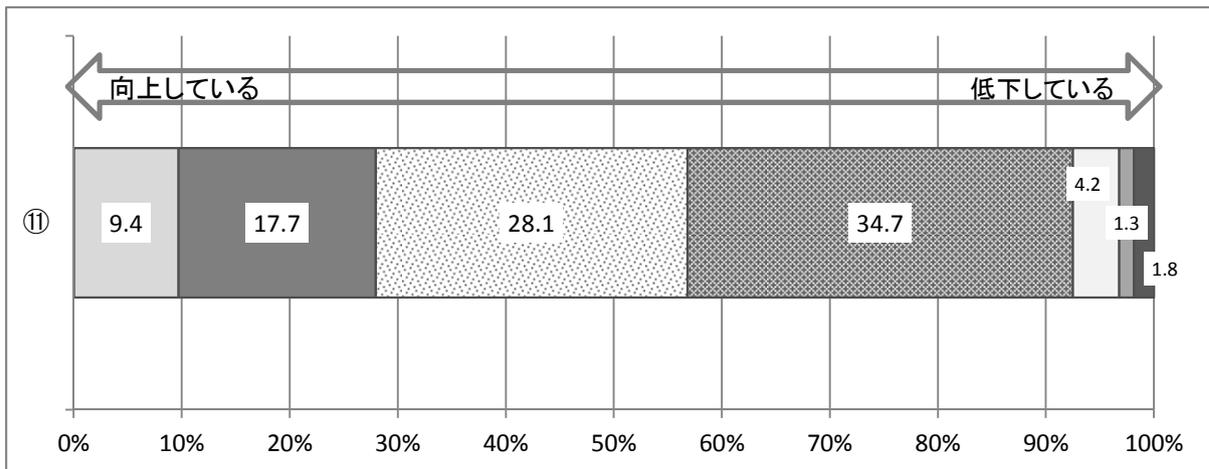
- ・駅前通り及びその周辺に公共施設がないので、施設建設により集客などの二次的効果で地域が活性化することを期待する。
- ・高速道路の整備により渋滞が減り、一般道も整備されて交通の便がよくなった。
- ・近隣自治体に比べて道路整備が遅れており、実現性のある計画を立てて進めてほしい。
- ・遠隔の山間部の市町村と合併し、交通をどう充実させるか、財政的課題も含め心配だ。
- ・道路やトンネルが数年で完成するので、それへの期待とその後の計画に関心がある。
- ・南海地震に備えての取り組みを進めてほしい。
- ・道路整備遅れているが、毎年少しずつでも継続して整備してもらいたい。
- ・路面の凹凸が多く、自転車が蛇行してよけるので非常に危険。
- ・合併前は行きづらかった施設が気軽に行けるようになった。
- ・道路・公共施設の整備などについて広域的な視点からまちづくりができるようになった。
- ・道路が拡張され、交通状況もよくなり、救急車等も十分に通行できるようになった。
- ・昭和30~40年代に建設された施設が多く、整備や管理のやり方が課題である。

▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・道路整備が進み利用しやすくなった。特に困っていない。
- ・少子化で学校整備は不要であるのに、無駄な施設が造られ続けていると思う。
- ・高齢化等により公共施設の利用者は減っているから。
- ・必要な施設の耐震補強等は必要だが、不要な施設についてまで要望を聞く必要はない。
- ・道路の整備が悪く、観光地であるのにイメージが悪くなっている。
- ・広範囲になり、道路、公共施設などの維持管理が十分に対応できていないと思われる。
- ・中心市街地付近の整備ばかり進んでおり不公平を感じる。周辺部は管理が行き届かず、以前より環境が悪くなったようにも思う。せめて通学路くらいは整備してもらいたい。
- ・道路問題は国・県の施策で決定され地方の希望通りにはなかなか進まない。
- ・箱ものの建設よりも住民に直結するサービスに予算を使ってもらいたい。
- ・予算がないのでできないという話ばかり聞く。職員の意識が低下しているように感じる。
- ・道路等の整備計画が周知されておらず、それが常態化する中で関心を失っていった。

⑪ 防災・危機管理  
 (防災行政無線の整備、消防署や消防団の充実など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・小さな川が大雨時には溢れてしまうのだが、なかなか整備をしてもらえない。
- ・災害時の迅速な対応を望む。範囲が広がったが、地元職員は対住民比で見ても少なくなり、現場到着まで時間を要することとなるので対策が必要である。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

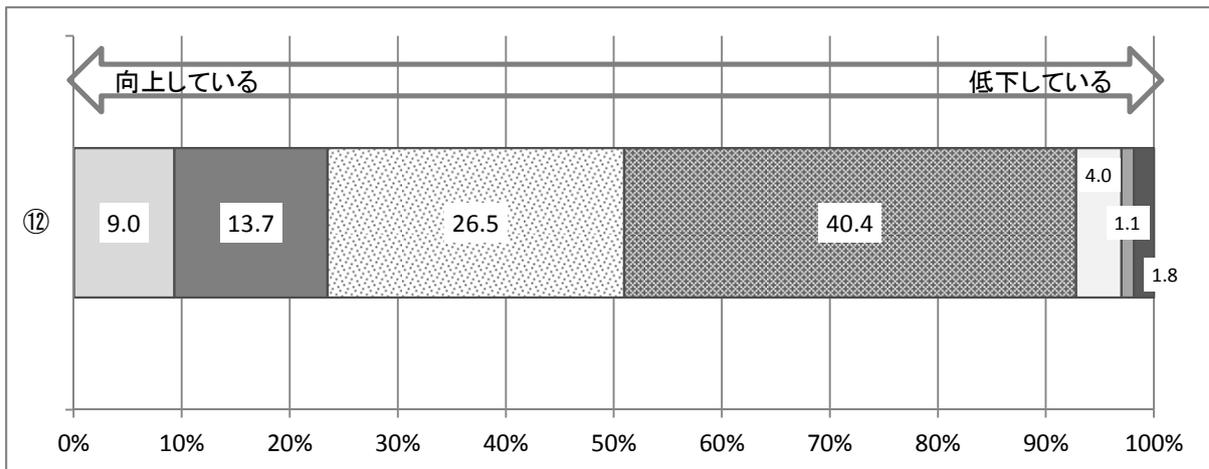
- ・大震災や異常気象、また原発があることへの不安が影響し、最も関心が高い。
- ・行政の支援もあり、各地区の自主防災組織の活動が活発になった。(温度差もある)
- ・防災・危機管理サービスが高度になり、研修や訓練も多くなった。
- ・過去に大きな災害の被災経験があるため。
- ・危険箇所、道路や水路の補修の要望を上げると担当者が現地をすぐに確認、対応に動いてくれ、整備が進んでいる。防災面の動きの活発さを感じる。
- ・災害経験が少なく全般的に危機意識が低い地域だがメディアの情報等の影響で徐々に意識向上が感じられる。
- ・近年、防災士の増加、各地域毎での防災訓練等、行政の取り組みに対して住民の防災への意識が向上してきたと思う。
- ・住民の危機意識が不十分にも感じられるので更なる広報、啓蒙が必要だと思う。
- ・防災行政無線の整備、防災ラジオ等の配布等の防災器材の準備が進んでいる。
- ・地区に若い人が減り消防団員が不足している。
- ・危機管理の担当課が設置され、積極的に動いており、住民の意識も高くなった。
- ・防災マップや津波危険マップの配布等を受けて意識が強くなった。
- ・南海トラフ等今後起こりうる災害のことを考えて関心を持つようになった。
- ・今後起こるであろう巨大地震に対する横のつながりが少しずつ充実していると思う。
- ・防災訓練や自治会の体制が整ったことで、以前より危機意識が高まった。
- ・行政の情報伝達訓練も重要であるが、住民のための避難訓練が足りないと感じる。
- ・市内数か所で災害発生した場合等にうまく機能するかが心配である。
- ・大規模災害時に地域の高齢者をどう守るか不安があるので対策してほしい。
- ・防災に市民全体で取り組んでいる。市役所から各住民センターの窓口、それから各部落へと流れは早い。自治会の力もすばらしいと思える。

▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・十分機能しており、喫緊の課題ではない。
- ・大事なことなのだろうが、身近に感じられない。
- ・地域に合った具体的な施策に乏しい。
- ・防災については「自助、共助」ばかり強調され、建造物の耐震化等の公助で行う部分が見過ごされているのに違和感を感じる。

⑫ 地域情報通信網の整備  
 (CATV、光ファイバー、住民情報システムの充実など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・市内全域にCATVを普及させてほしい。
- ・CATVで議会の中継放送をしてもらいたい。
- ・自治会、常会、協議会にて情報を共有するためにプロバイダを設置してほしい。市役所もホームページで情報共有しているが利用している人は少ないと思う。もっとインターネット活用社会にしていく必要があると思う。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

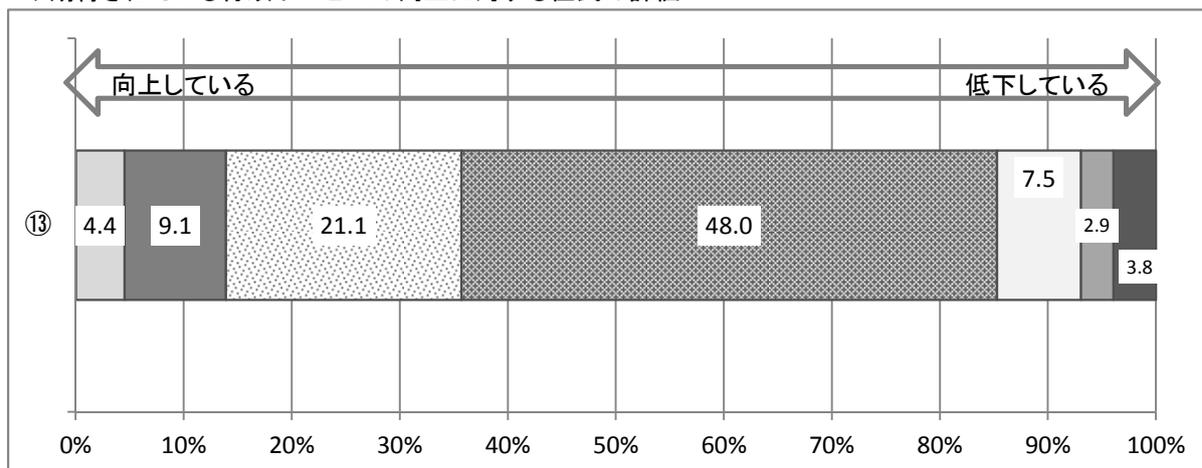
- ・光ファイバーを各家庭まで引いてほしい。
- ・インターネットによる行政情報の収集が楽になり、ライブカメラなど生きた情報が見れる。
- ・CATVで市内全体のことがよく分かる様になった。
- ・自治体のホームページがリニューアルされ、見やすくなったが、知りたい情報が掲載されておらず改善の余地がある(ゴミ収集の休みについて、どこで確認していいかわからない等)。
- ・税の電子申請が可能になり便利である。
- ・IT関連の発達により誰もが利用でき、関心も高いが、情報に踊らされていないか等、正しく利用できているのか不安である。
- ・今までに見ることのできなかつた情報(議会等)が得られ参考になる。
- ・災害等緊急時の連絡手段としても有用であると感じている。
- ・インターネット等は高齢者には利用できない。簡便化も必要である。

▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・有線放送がなくなろうとしているのが残念。
- ・現状でも不便はなく、地域にとって重要な課題とは考えていない。
- ・その恩恵を受けても使いきれぬ能力が備わっていないと思われるから。
- ・行政の企画の意図や、整備の必要性が見えてこない。
- ・高齢者が多い地区であり、関心が低い。
- ・情報通信については行政レベルで行うことではないと思うから。
- ・通常のテレビや新聞で十分であると思うから。
- ・地域情報通信網の整備と言われても抽象的でイメージができないし、どのような点で便利になるのかわからない。

⑬ 公共交通機関の確保等  
(コミュニティバスの運行など)

◆期待されている行政サービスの向上に対する住民の評価



■低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・離島をはじめとした航路の減少は利用数からすれば仕方ないが、不便である。
- ・公共交通機関を安くて便利なものにしてほしい。高齢化社会の中で整備は必須。
- ・船がなくなったことで、橋の通行料が重い負担となっている。
- ・航路の廃止は住民の福祉にとっても観光振興にとっても問題である。
- ・従来、生活の必需品のほとんどを調達していた近隣自治体へのバス路線が廃止になり、コミュニティバスもない。デマンドタクシーを利用できる策を検討してほしい。
- ・定時運行ではなくデマンドタクシーの様な必要時のみ運行を検討するべきだと思う。

▲関心が高くなった主な理由(原因)

- ・地域バス、コミュニティバス、デマンドバス等は住民の移動手段としてとても有用である。
- ・地域バスが高校生の通学に合わせたダイヤになっているが、高齢者の買い物や通院も考慮したダイヤにしてほしい。
- ・地域の足として密着しているが、まだ乗客増加が厳しいように思える。また、時々運転手の対応が悪いことを耳にする。山間部の足をどうするか、まだ向上を求めたい。
- ・過疎化高齢化で交通弱者が増えており、福祉の一環として移動手段を考えてほしい。
- ・バスは空車ばかりで税金の無駄遣いだと思う。軽四で連絡制実費負担にしてほしい。
- ・定期航路減便で、住民の島外への足が不便になった。これ以上悪化しないよう願う。
- ・高齢者や観光客の足をどうするのか。新しい交通システムを考えないと限界である。
- ・民間交通が赤字により撤退していくので公共交通の整備が重要である。
- ・市に住む人にも余所から訪問してきた人にも便利な移動手段を提供したい。
- ・合併により全てが本庁所在地中心になり、交通機関低下してしまった。

▼関心が低くなった主な理由(原因)

- ・あまり不便を感じない。通学用の交通は整備されているので問題ない。
- ・公助に依存し過ぎている面があるように思う。
- ・走行ルートやサービスの種類、スケジュールがよくわからない。
- ・利便性が悪く、住民の足としては不十分。
- ・自家用車や親戚の車を主に利用している。
- ・自分の住む地域には運行されないと思うから。
- ・公共バス廃止の話し合いを4~5回行ったが、はじめから廃止ありきで話が進み、何のための議論だったのかわからない。
- ・不便な公共交通に諦めを感じている。
- ・コミュニティバスはほとんど空車で運行されている。もう少し実のある対応をしてほしい。

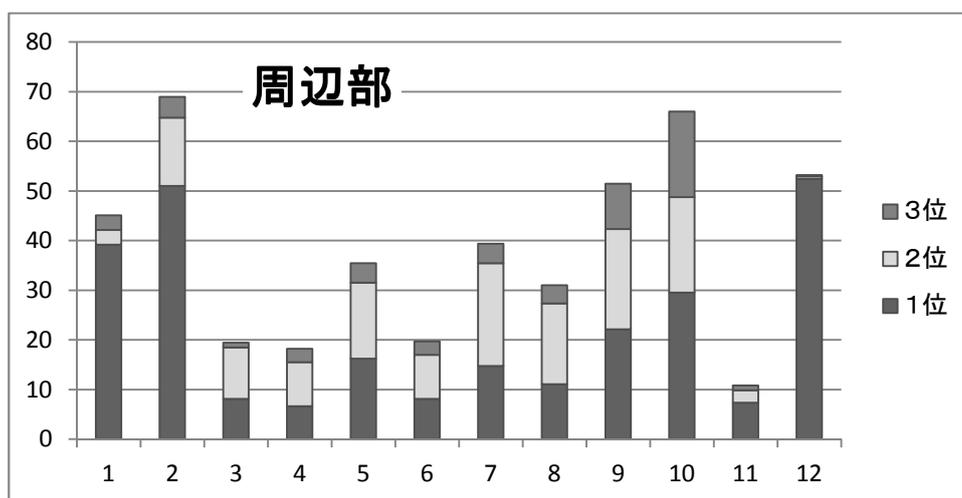
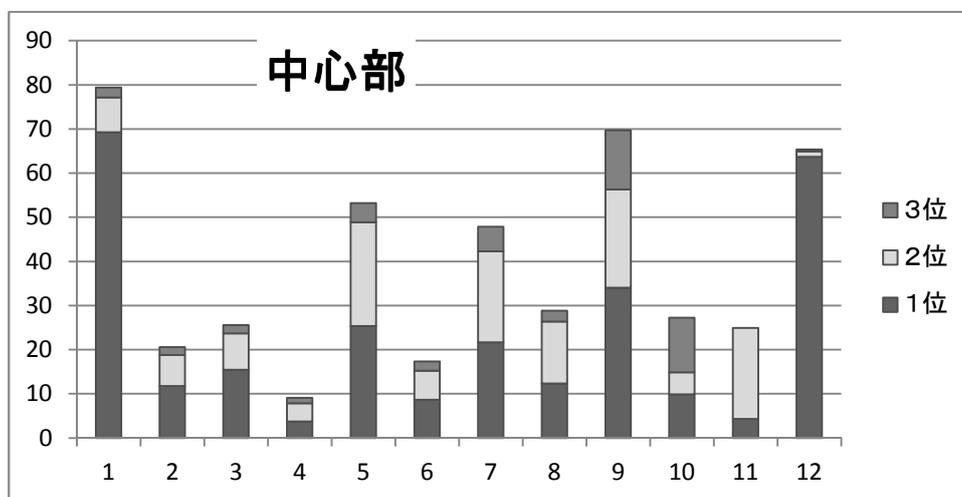
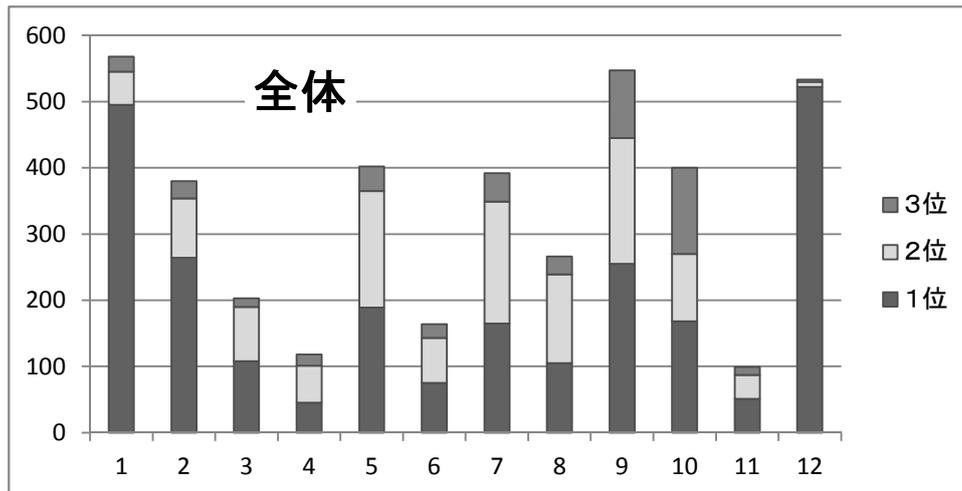
## ⑭ その他

### ■ 低下したと思われる行政サービスについて望むこと

- ・行政面積の肥大化、効率化の優先により、職員と地域住民との繋がりが希薄となり、地域課題に十分対応できないので、その対策を考えてもらいたい。住民にまちづくりの論点(問題点)を明らかにし、地域住民との開かれた論議をし、一緒に考えてもらいたい。
- ・元々中心市街地に住んでいた人にとっては合併で良くなったことはないと感じる。
- ・行革ありきで人員削減が行われており、サービスの向上が望めない。
- ・市役所に職員が多すぎる。
- ・ハード面(インフラ等)は向上したが、ソフト面の行政サービスがなくなっているように思う。
- ・人口減少、情報の氾濫等から人と人との繋がりが希薄となり、他人に無関心という傾向が強くなっているように思うが、行政の考えと対応策を知りたい。
- ・行政に頼りすぎて、個々人の責任意識が低下しているように感じる。
- ・自治体内での地域差を十分に認識して行政運営にあたってもらいたい。
- ・限られた予算の中で優先順位付けがあると思うので、そこを住民向けに説明してほしい。
- ・少数意見を排除せず、少数意見にこそ問題の本質があることをわかってほしい。
- ・過去の行政の対応に縛られることのないよう、柔軟かつ大胆な改革をして欲しい。
- ・地域活動の拠点を分散させ、均衡ある発展を目指してほしい。
- ・人員増と正規職員の定数確保、待遇改善による職員のやる気を引き出してほしい。窓口の職員増と専門知識を重視してほしい。
- ・民間が出来ないことをやっているという自覚を持つよう徹底してもらいたい。
- ・地区公民館の活動の衰退が大きく自治公民館でのコミュニティの存続が心配である。
- ・職員の域外、海外派遣等を増やし、優秀な人材を育ててほしい。
- ・議員選出、自治体運営のあり方等、合併時に立ち返り、この先長い目で見て、全体にとって何が必要か考える必要があると思う。
- ・山間部、過疎地、高齢地域への行政サービスを充実させてほしい。
- ・議員数削減で住民要望の吸い上げが難しくなったが、山間部のことも意識してほしい。
- ・諸政策の費用対効果等、再検討が必要だと思われる。
- ・臨時職員で事務処理体制を整えるのではなく正規職員を充てて責任ある行政を求める。
- ・行政がまちの将来ビジョンをしっかり描けていないように感じる。
- ・行政マンは地域の営業マンとして、今何をすればいいかを考えて仕事をしてほしい。
- ・まちの課題等を共有できる広報活動を行ってほしい(ボランティアの呼びかけ等)。
- ・財源不足を理由に周辺地域へのサービスを中止しないでほしい。



○ グラフ



## 1 一層の行政・財政の効率化(職員の削減・適正配置、施設の統廃合等)

民間委託や支所のスリム化など更なる事務の効率化・簡素化を求める意見が多い。一方で、末端の地域までサービスが行き届くよう体制の整備を求める意見もある。

### 具体的な提言

#### ○職員等について

- ・議員歳費を日当とする。
- ・公務員と民間との給料の格差を是正する。
- ・新規採用者を増やし、将来の人材を確保する。
- ・役職が上の人から順に職員教育を進めていく。
- ・基本的な仕事の進め方として、業務の報告と結果の評価を適宜行う。

#### ○行政サービス等について

- ・効率化を理由に職員数、支所数等を削減してサービスを低下させてしまうのではなく、末端の地域まで行政が行き届くように、きちんと整備を行うべきである。
- ・総合支所方式や分庁方式から本庁方式に移行し、現場業務と区別するべきである。
- ・民間に委託できる事務は積極的に委託すべき。(福祉施設、図書館の運営等)
- ・公民館やコンビニ等での行政サービスの申請・交付を可能にし、支所をスリム化すべき。
- ・給食は給食センターに任せ、一か所に統一すべき。

#### ○施設の統廃合、利活用等

- ・老朽化した施設や生徒数の少ない学校等を計画的に整理、統合し、跡地・建物の再利用を進める。
- ・税金の無駄遣いをしている施設、団体等の徹底した調査と改善を求める。
- ・旧庁舎(支所)の空きスペースを有効利用できていないので利用率をあげてもらいたい。
- ・分散している文化施設、体育施設等を統合して、施設内容の充実に努めるべき。
- ・日頃のコミュニティーの場や、災害時の拠点のために、公園の整備、増設が必要。

#### ○その他

- ・配布されるゴミ袋を無駄にもらい過ぎている人がいるので、きちんと管理すべき。
- ・施設の費用対効果等を再点検し、統廃合を行う必要がある。

## 2 支所・出張所等の機能の充実

住民と親密な関わりを持ち、地域の実状に合った機能と権限を付与するべきとの意見が多い。

### 具体的な提言

#### ○サービス

- ・高齢者のためにも、全ての申請や手続きを住居近くの支所でできるようにしてほしい。
- ・水道・税務・福祉関係等は1か所で用事が完結するようにしてほしい。

#### ○職員

- ・地元を良く知る職員を支所、出張所には登用してほしい。
- ・職員には窓口だけでなくもっと地域のコミュニティーに出向いてもらいたい。
- ・職員の教育を今以上にしてほしい。上から目線ではなく住民の立場に立った対応を望む。
- ・支所、出張所の職員を増員してほしい。専門的な職員も少ない。

#### ○役割

- ・地域の課題や要望等を本庁の当局に伝えるという支所の役割をしっかりと果たすべき。
- ・地域に合った個性的な支所、出張所づくりをして、農林業の強い地域には農林分野の専門職員を置くなど、地域に合わせた機能を置き、支所を中心としたまちづくりができるようにしてほしい。
- ・予算等について主体的に動けるなど、支所、支所長の権限を拡大してほしい。
- ・地区単位の住民自治を推進するためにも支所に地域振興の課を置き、「地域おこし協力隊」等も利用して人員配備してもらいたい。
- ・地域住民の集まる場、サロンのような立ち位置の支所を目指してほしい。

### 3 上下水道料金の公共料金や公共施設等の使用料などを統一するなど住民の負担の適正化

上下水道などの公共料金の統一は進んでいるが、公共施設の使用料について統一できていないところがあり、統一を望む意見がある。

#### 具体的な提言

##### ○上下水道

- ・下水道の使用料が高く、下水道工事が完了しても接続しない世帯があるので改善すべき。
- ・上水道料金について、安定供給できるよう、値上げすべき。老朽化も激しく経営も厳しい。住民にきちんと説明して納得してもらうよう取り組むべき。
- ・上下水道事業への企業会計適用と一般会計繰入の厳格化をすべき。
- ・下水道の整備について、現在の計画ではいつ整備されるのか見通しが立たないので、予算を増額してでもきちんと取り組んでもらいたい。
- ・簡易水道事業は、上水道事業に一本化して水道料金を統一すべき。

##### ○その他

- ・使用料が高すぎるので値下げしてほしい。
- ・公共施設の使用料が無料のところと有料のところがあるので、一律負担にしてほしい。
- ・伝統芸能の活動に公共施設が使用される場合、町からの補助費にも関係するため、使用料の規定が複雑になる。関係者間で納得できるように統一してほしい。

### 4 合併前の旧市町村ごとに異なる住民サービス(基準)の調整

旧町村に残る過剰なサービス等をやめサービスの均一化を図るべきとの意見がある一方で、統一は不要で地域の特色を生かしたサービスを目指すべきとの意見がある。

#### 具体的な提言

##### ○サービスの均一化、合併市町での統一感

- ・公平、平等を基準にサービスを考えるべき。
- ・旧町での過剰なサービスや、補助金の優遇はやめて、旧町村の枠を脱すべきである。
- ・議会でも、各々の地域のこじか考えてなく、自治体全体の向上の為の発言はしていないように受けとれる。自治体の前進、住民の生活の向上にむけた審議をしてもらいたい。

##### ○地域の特性に合わせたサービス

- ・住民の多い市街地と、少ない山間地では、設備等の補助に関して市助成率が同じだと、山間地での個人の負担が過大になるので、住民1戸当たりX円の負担とされたい。
- ・コミュニティの醸成や防災・地域福祉のために区長制度(又は自治会制度)は必要と思う。
- ・文化の違う町村の合併であり、統一は不要。各々の特色を生かした行政サービスを目指すべき。
- ・コミュニティバス等のサービスに地域差が出ないようにしてもらいたい。

## 5 住民と行政が共に協力・連携したまちづくり

行政が住民との交流や地域との関わりを積極的に持つべきとの意見が多い。一方で、地域の自治組織の強化等住民の自主性の向上を求める意見も多い。

### 具体的な提言

#### ○行政の関わり

- ・「まちづくり協議会」へ職員派遣、拠点、事務所の整備をしてほしい。
- ・年一回でも各支所へ本庁首脳部が行き、地域の方々と地域のあり方についてビジョンを示し懇談会を行ってまちづくりに繋げていくべき。まちの目標や希望について共有したい。
- ・地域住民と行政が一体となって、タウンミーティング等の積極的な取り組みを図る。
- ・住民と行政が気軽に話せるような交流の場を設け、よく理解する努力をしてほしい。
- ・行政の中に窓口コーナーで住民の意見集約できる場所を作ってほしい。
- ・地域に出向いて出前講座を実施してほしい。

#### ○地域の自主性

- ・自治会等住民組織にもっと自立、活性化を促し、共にまちづくりを進めてもらいたい。
- ・コミュニティ運営協議会を中心とした地域に行政の持っている権限・財源を移譲し、地域住民が自己決定・自己実現・自己責任の考えで地域の課題解決に取り組み、主体的にまちづくりを行うという福岡県宗像市の手法を参考にしているかどうか。
- ・行政にまかせきりでは限界がある。区長他各役員等を通して地区に出来る事は任せることで、自分達で地区を守るという意識をもってもらう事が大切だと思う。
- ・災害を助長する原因ともなっている雨水路、用水路の総点検を地域を熟知している自治会へ依頼し、協働整備事業として、災害抑止、環境整備として、市民ぐるみでの自主防災運動を、連合自治会、アパート、マンション、企業等に呼びかけ、取り組んでほしい。
- ・素晴らしい人材が地域に埋もれているので、職員や議員数を減らし、各自治会等を臨時職員扱いして給与を払い、地域のことをお願いすればよい。
- ・自治会加入者を増やすために、自治会の加入を減税項目にできないか。

#### ○その他

- ・市街地が寂れてしまっているので、商業施設の建設や商店街の活性化等、民間の若い人の考えを取り入れ大胆な変革を期待する。
- ・道の駅の開設によって、交流人口を増やし消費を生むことを期待している。
- ・男女参画事業を推進し、女性もまちづくりに加わってもらえるよう努めるべき。

## 6 合併市町としての一体感を生み出すための取り組み

合併市町全体で行うイベントを増やすなど一体感の醸成を望む意見がある一方で、地域の独自性を重視する意見もある。全体としては、行政に望む具体的な意見が少ないため、地域の特徴が失われる懸念の方が大きいのではないと思われる。

### 具体的な提言

#### ○住民の交流・地域の垣根の排除

- ・地域同士が公民館活動を通して一体感を育てることも大切である。
- ・合併市町村共同で行うイベントを増やしてほしい。(歴史散歩、祭り、スポーツ大会等)
- ・旧○○地区など言わない。こだわらない。

#### ○共通化

- ・地域の特産品開発・販売や地域めぐりマップの作成を行う。
- ・ゆるきゃらを活用して一体感を生み出す。
- ・町民憲章、町花、町木等を改定し、統一する。

#### ○その他

- ・周辺地域から中心部への移動コストを下げるべき。

#### ○地域の独自性を重視する意見

- ・各地域の特色・伝統、特産物や特殊工業製品を伸ばし、周辺部も盛り上がるよう取り組むべき。
- ・全て中心市街地に合わせるのではなく、周辺の旧自治体に取り組んできたことも検討し、評価する姿勢を見せること。各地区独自の予算というのもあっても良いと思う。

## 7 地域の特徴、資源を生かした産業の振興

地域資源を生かした地域ブランドの確立や観光振興など様々な意見がある中、地域の将来を見据え次代を担う若者の移住・定住を求める意見もある。

### 具体的な提言

#### ○地域ブランドの確立

- ・旧自治体単位での特色ある産業振興を推進し、地域ブランドを確立する。
- ・地域ブランド認証ロゴの作成。
- ・無いものを外から持ってくるのではなく、地域にある物を再発見・再活用する。

#### ○若者の定着等、人材づくり

- ・地元に残り地域を盛り立てようとする若者、元気で若々しい団塊世代、まだ能力を開花させていない主婦たち。これらの地域に居ながら活かしきれていない人的資源を活用する。
- ・産業を担う人材の育成や、都会から若者の移住を促すことをもっと取り組むべき。
- ・若い世代が定住できて、働ける場所を用意する。空き家の活用も考える

#### ○その他

- ・第一次産業との調和を図る形で工業や発電所の設置等のあり方を考えるべき。
- ・農作物の販路拡大と価格の安定が必要。林業については加えて林道の整備も必要。
- ・観光資源を活かすための交通網、道路整備や、補助施設の設置を行ってほしい。
- ・自治体がエネルギーを作って販売することを考えてみたらどうか。
- ・全国から来る遍路客に向けた表示等を増やしてもよいのではないか。
- ・原発があることを活かして、先進技術の開発、導入や最終処分場の受け入れも考える。
- ・地域資源を生かすにも資金が必要。地元負担軽減のため、地域づくり交付金を増額する。

## 8 合併市町が掲げている重点目標(産業振興・子育て支援など)への取組み

重点目標の中でも少子化対策・子育て支援、産業振興、防災対策についての意見が多い。

### 具体的な提言

#### ○少子化対策・子育て支援

- ・経済面、精神面、環境面において、地域で子育てを支援し、将来を担う人材を育てる。
- ・小学生までは医療費を無料にすべき。学童保育も延長してほしい。
- ・子供が自転車や徒歩で行ける範囲に公園等の遊び場を作ってほしい。
- ・子供を持つことの良さ等を近い世代間で伝えられる繋がりがあるとよい。
- ・独身者が異性と出会える機会をたくさん作ってほしい。

#### ○産業育成、地域振興

- ・地域にお金の落ちない外部資本の商店ではなく、商店街を活性化し地域で経済循環が起こるように、商店街内でも地区ごとに特化する項目を絞る等の対策をとるべき。
- ・若者が都会に流れてしまわないように、働く場を用意するために産業振興が急務。
- ・産業振興予算を支所単位で配分、支所間の競争を促し、地域ごとの特色ある産業振興を目指す。
- ・建設業育成のために、耕作放棄地を利用し、建設業者の農業経営進出を促す。

#### ○防災、安全安心

- ・防災への関心が高まる中で、避難場所が乏しい地域もあるため対応してほしい。
- ・車中心の道路整備から人が中心の道路整備にシフトしていくべきではないか。
- ・安心安全を掲げるならば、脱原発のため近隣自治体として意見表明してほしい。

#### ○その他

- ・高齢者のためのグループホームを増やしてもらいたい。
- ・我がまちだけの問題ではないので、近隣自治体と協力し、広域的な取り組みを進める。
- ・重点目標の推進状況を、区長会で説明しないと、現状では住民に実感が無い。

## 9 地域経済の活性化による働く場の確保、雇用の創出

衰退する第一次産業の活性化や需要が伸びる福祉関係の取組みについての意見が多い。また、企業誘致を推進すべきとの意見もあるが、地元での起業支援など地域の特性を生かして雇用を創出していくべきとの意見が多い。

### 具体的な提言

#### ○第一次産業関係、福祉関係

- ・水源地区として、森林や水田のダム機能に注目し、害獣駆除等にも力を入れることで、森林組合での雇用を増やし、農林業の支援をできないか。
- ・森林資源を活かして木炭ストーブ用の木炭づくりなどしてはどうか。
- ・農業の六次産業化、大規模化により農業の魅力を上げ、就農者を増やせないか。
- ・六次産業化をしようとする人に対して無利子融資等の支援をできないか。
- ・被介護者の中にも農業をしたい人がおり、農業と介護を合わせた事業ができないか。
- ・農業に従事している高齢の親を補助しながら働ける距離に企業を誘致し、親と子が安心して生活できる環境をつくる。
- ・高齢者向けの宅食サービスを行政でも行えないか。
- ・移動手段の確保や日用品、食料の調達等の高齢者の支援体制を組んで雇用に繋がられないか。高齢化に伴いヘルパーの増員もできるだろう。

#### ○地域での経済循環

- ・他所からの企業誘致ではなく、地元での起業を支援する。
- ・国債を買うばかりで中小企業に融資をしようしない金融機関に指導をしてほしい。
- ・地元出身者の雇用等地域雇用を優先するような施策を講じる。
- ・道の駅や産直市場等を設けて雇用創出できないか。
- ・地場産業を育成し、雇用を創出して、若年層を地元に着させたい。

#### ○その他

- ・空き家を有効利用し、働く若い世代の定住、生活支援をできないか。
- ・支所にハローワークのような機能を持った場所がほしい。
- ・自治体職員が雇用の中心であるので、採用数の維持をしてほしい。
- ・東京事務所の企業誘致担当職員を増員し、企業誘致を一層推進してほしい。
- ・原発に頼らない地域経済の活性化が求められる。
- ・原発再稼働による雇用の創出が必要。
- ・今後需要も増えると思うので産業廃棄物処理施設を誘致する。
- ・IT関係職種の人が田舎に移住する流れがあり、光ファイバー等の整備が重要となる。

## 10 中心部だけでなく、合併市町全体でバランス良く発展するための取組み

サービス、インフラや支所の権限等の充実など、周辺部における地域間格差の是正を求める意見がある一方で、機能集約や集落のコンパクト化など効率的なまちづくりを望む意見もある。

### 具体的な提言

#### ○周辺部の充実

- ・各支所に本庁機能を分散配置する。
- ・イベント、講演会等をもっと地域バランスを考えて行うべきである。
- ・周辺地域の道路、交通等生活環境の整備を一層進めるべき。
- ・旧町村で行われていた取組を絶やさずに形を変えてでも存続させる必要がある。
- ・各地区の自治会に月一度でも職員が出向き、地域の意見を政策に反映してほしい。
- ・地区独自の予算を持てば、地区間の競争が生まれ、全域の発展に繋がると思う。
- ・公共施設をあえて自治体内各地に分散させることで人口集中を防ぎたい。
- ・住居を中心部に集中させないために新築の際の補助金を中心部から離れるほど増額する。公営住宅を中心部から離れるほど家賃を安く設定する。
- ・物資の購入等を入札で決めてしまうのではなく、各地域の商店を優遇してほしい。

#### ○中心部を核とした発展

- ・無理にバランスを取り、地域に機能を分散させるのではなく、成長できるところは成長し、周辺部でも最低限のライフラインだけは維持するようにすればよいと思う。

#### ○その他

- ・点在する集落を集約、コンパクト化することで、周辺地域でも生活基盤を整え、過疎化を食い止める。そのために行政の縦割りを排した総合的な予算実行が求められる。
- ・業務も多様化、広域化しており、人員削減よりもむしろ増員が望まれる。
- ・田舎と市街地の交流が盛んになるようなまりづくりをしてほしい。
- ・市議会議員出身地のバランスが取れるように選挙区制を導入してほしい。
- ・議員の方々に自治体全域で一つだという意識を持ってもらいたい。
- ・インターネット環境を良くし情報に遅れが無いようにする。

## 11 その他

合併とは直接関係のない地域課題があり、少子高齢化や医師不足などについて様々な意見がある。

### 具体的な提言

- ・病院の医師確保に努めてほしい。
- ・産業遺産、文化遺産を大切に保存したまちづくりを進めてほしい。
- ・首長との意見交換の機会が設けられたが、質問に対する回答が後日になったまま帰ってきておらず、意見交換の意味を成していない。ホームページ等での回答を求める。
- ・駅のエスカレーター設置等バリアフリー化を進めてほしい。
- ・島嶼部にとって海上交通や架橋は重要な問題なので一層の整備、維持を望む。
- ・自治会の合併は進んでおらず、限界集落化していく中、存続が危ぶまれているので、行政の指導で自治会の合併、統合を進めてほしい。
- ・側溝が危険なので暗渠化するなどの対策をしてほしい。
- ・担い手不足で地区役員等を何度も引き受けることになってしまうので回覧等にできる部分は簡素化してもらいたい。
- ・まちづくりに高校生以下の子供を巻き込み、話し合う機会がほしい。
- ・家族で遊べる場所がほしい。
- ・社会保障費抑制のためにも、高齢者の外出促進など、健康増進に努める。
- ・1年に1ヶ月位しか使用しないプールを焼却炉の熱を利用した温水プールを併設したトレーニングセンター等にした方が、雇用も増やすことが出来て良いのではないかと。
- ・生活保護受給者への厳しい審査と就職の斡旋が必要。

## 問4 自由意見

### 1 住民サービス

- ・住民生活の利便性向上に努めてほしい。
- ・昔はいたような地域のことなら何でも知っている「生き字引」のような専門職員を育ててもらいたい。公民館名等には地元出身の人を配置するよう配慮してほしい。
- ・道路の草刈り等の管理がずさんになっている。
- ・民生・児童委員の地区別要員のバランスが取れておらず、必要なところに足りない。
- ・広報誌について月2回は手間が多すぎると不人気。月1回で内容を充実させるべき。
- ・合併によってサービスが向上すると期待していたこともないし、特に向上したと実感したこともない。合併する前より、かえって悪くなったと思うこともない。
- ・合併後、サービス向上が進んでいると思う。より一層のサービス向上を進めてほしい。
- ・放送網や医療等について整備が不十分で取り残されたように感じる。
- ・自治体の名前が変わっただけで職員等の意識があまり変わっていないように思う。
- ・サービス過剰で無駄が多いように感じる。

### 2 権限移譲

- ・国から地方への業務移行が進められる中、合併による職員一人当たりの住民サービス量が増加している。臨時・非常勤職員で対応しているが、その分正職員の責任の重さも大きくなっている。正職員の労務負担を見直す必要があるのではないかと感じる。職員の能力向上も求められる。

### 3 財政基盤

- ・財政的に余裕もないので、一層の職員削減と適正配置が求められる。
- ・自治体の公債比率を健全なものにしていきたい。借入金ゼロを目指してほしい。
- ・合併前に掲げたプランの検証が必要。
- ・事業をする際に、建設費、経年劣化の度合い、維持管理費等、財政的に将来まで考えて負担にならないか等、多面的に視点から検討し、見通しを住民に説明するようにすべき。
- ・国保等は規模が大きくないと成り立たず、財政面においては小規模でやっていくことは不可能であると考えるのでより大きな人口規模への合併を考えるべき。

### 4 行政基盤

- ・職員の質に差を感じる。また高齢者が思う常識と若手職員が思う常識のずれも感じる。
- ・職員削減すべきだが、地域を思う優秀な職員はどんどん増やしてほしい。
- ・旧町村が培ってきた知識を活かし、各々地元で知識と指導力を発揮できるよう、全体の人事面、待遇面を改善する必要があると思います。
- ・議員も職員も合併に伴う効率化が不十分で以前のままの部分が残る。
- ・地域分権が進む中、財政力に乏しい自治体としては地域住民の負担増と低福祉が心配である。10年前は実現しなかった大企業を有する近隣自治体との合併に期待する。地域の活性化と地域福祉の増進を期待する。
- ・より広域での合併をさらに考える必要がある。
- ・合併10年や首長の変更で、ある程度組織機構の見直しは必要だろうが、毎年の様に課名や担当部署が変わり、分かりづらい。将来を見据え、機能する体制の確立を求む。
- ・全体にバランスのとれた良い行政であると思う。
- ・支所職員の削減、適正配置が求められる。

## 5 日常生活圏の広がりに応じたまちづくり

- ・同じ自治体内を移動するのにも、橋代など交通費がかかり過ぎる。
- ・人口増への対策が打たれていないように思う。
- ・合併により他地域と交流が持て、多様な面で勉強にもなったのでよかった。
- ・条件不利地で人口減少の激しい地域の校区の合併をより進めるべき。
- ・中心部だけがよくなったと言われないように周辺部への対策も充実させてほしい。

## 6 旧市町村の境界を越えた施策の展開

- ・自治体として何をを目指しているのか、将来ビジョンが見えない。
- ・業務や施設等重複が見られる部分がまだあり、整理が不十分。

## 7 合併による地域のイメージアップ、地域の活性化

- ・首長のトップセールスによりよく地域をうまく売り込んでいると思う。
- ・地元住民だけでも橋代を無料にするなど、移動コストを下げてもらいたい。自治体住民の一体感を生み、地域の活性化にも繋がると思う。
- ・歴史文化遺産や瀬戸内の盛り上がりなど、イメージアップの要素がたくさんあるので、より一層外へのPRを押し進めてほしい。
- ・若者の住める地域づくりをしてほしい。小中学生の増加を望む。
- ・合併前後の変化が分かりづらい。地域の行事に職員がもっと積極的に参加すべき。
- ・小さくても住みやすい良いまちだと思うのでそういったところをもっとPRしたい。
- ・ゆるキャラはなかなか良いデザインだと思うのでもっと活用していくべき。
- ・合併時に掲げたまちづくりのスローガンを最近では耳にしない。個別の施策は今も動いているのだろうが、合併時に立ち返って総合的な評価、進捗状況を示してほしい。
- ・合併のメリットをもっとPRしてほしい。

## 8 周辺部の振興や地域コミュニティ

- ・海上交通の充実が望まれる。
- ・まちづくり協議会の活動を全区域に推進しているが、そこまでの広がりを見せていない。
- ・合併によって、福祉、教育、住民サービスの向上していると感じている。道路の維持管理、防災危機管理など細やかな施策が行われ、住民生活に安堵感があらわれていると感じる。今後は、少子高齢化が進む中、過疎化が進み、周辺地域は限界集落となりつつある。高齢者が住みやすい、行政の在り方を見直す必要も生じて来るのかなと思う。
- ・自治会活動は高齢者ばかりで今の若者は参加しない。このままでは消滅してしまうので行政も手を打ってほしい。また自治会で請け負う清掃活動で事故等あった場合は誰が責任を負うのか不明確である。
- ・地域内でのコミュニケーションを大事にするためにも自治会等の存続を支援してほしい。
- ・無理に合併の一体感を求めず、それぞれの特色に注目していかないと地域の良さが失われてしまう。
- ・旧市町村間の管理職の配置について、バランスのとれた人事を考慮して欲しい。
- ・少子高齢化が進む中、都市部と農村部の共生によるまちづくりを積極的に進めてほしい。
- ・道路の整備状況が悪くアクセスが悪いため、若者が流出してしまう地区がある。
- ・小中一貫校などを検討すべき。
- ・若者の流出に関して公営住宅の家賃を下げるなど、地域にあった家賃設定をすべき。
- ・道路整備、光ケーブルなど早急に行い観光や産業を育成すべき。
- ・住民の意識改革を行い閉鎖的な考え方を無くすよう努力すべき。
- ・地区では出会いがない。婚活イベントも成功しなかった。行政の婚活支援もほしい。
- ・道路整備がなされ、来訪者が増えても、立ち止まる場所がないので道の駅などがほしい。
- ・周辺部に永住する人への手当や、企業の寮を整備できないか。

## 9 合併の検証について

- ・財政的なメリット等について行政のほうで把握している合併の効果を公表してほしい。住民に周知し、期待感を盛り上げるような取組が必要ではないか。
- ・アンケートについて、自由記述部が多く回答がとて難しかった。今回の実態把握が出来たら選択的な回答ができるようにして、毎年実施するようにしたらどうか。
- ・吸収した側とされた側双方から検証してもらいたい。
- ・そもそもどういう効果を狙って合併したのか一般市民にはわからない。
- ・スケールメリットを狙った平成の大合併には賛成。
- ・段階的に時間をかけて合併を進めるべきだったと思う。
- ・周辺地域の情報がなかなか入ってこないのが合併検証といわれてもイメージできない。
- ・良くなると思って合併したのではなく、そうするしかなかった。
- ・合併時に決めたことがどの程度進んだのか検証すべき。
- ・旧市町が合併前に地域住民に説明した資料の検証をし、実現できたこと、実現に向けて具体的に実施している事項や取組みを休止している事項など具体的に知らせてほしい。
- ・行政の効率化は着実に進んだし、サービスも維持されているのでよいと思う。
- ・集落代表者ではなく幅広く住民にアンケートを取るべき。
- ・国からの「アメとムチ」で進められた合併だが、合併せずともうまくやっている自治体もあり、本当に正しかったのかはわからない。
- ・合併したはいいが、その後の取組みが停滞してしまったように思う。

## 10 その他

- ・遍路の文化を活かして、四国で一体となってユニークな圏域づくりをしてほしい。
- ・大規模な市町村合併が、県という行政組織の廃止につながることを期待している。
- ・経済効率優先で格差を広げ、不幸な人を増やすので国の方針には従わない方がよい。
- ・小さい行政単位で細かい所まで目が届く昔の村単位が幸せな人を増やす基本と考える。
- ・合併した小さい町や村は確実に消滅への道をたどると思うと残念。
- ・合併である以上、一方に依存するのではなくともに発展していかなければならない。
- ・合併に合わせる形で選挙区の区割りも修正してほしい。
- ・地域の活力は人の力なので、婚活事業をより力強く進めてほしい。
- ・消防署が市の中心部から外れ、手狭になってきている。中心部に新しい消防署を作れば良いのではないか。
- ・自治会集会所の経費について、自治会単独ではなく全体が納得できるよう、統一された費用負担に揃えてほしい。
- ・防災について、全体的な話も大事だが、個々の地域の住民が実際に災害にあった時にどうすればいいのかという具体的な話が聞きたい。
- ・民間によるサービス導入などを掲げ「官から民へ」の取組みを進めているが、民への十分な指導が出来ているのか疑問である。
- ・市と市民との関わり方を見直して市民は市に頼るのではなく自らが市と作るという意識を多くの人を持つようにすることだと思う。そして市をもっとスリム化(市議会も)し行政コストを減らし、市が市民を押さえつけるのではなく本当の市と市民の協力体制をつくるのがこれから求められていると思う。
- ・少子化対策について全国初の革新的なモデル事業を立ち上げてほしい。
- ・旧来の地名での呼び方に未だに愛着がある。
- ・定年退職した人が、都会を離れて田舎暮らしをする人が増えてきているので、U・Iターンを希望する人のために全国にPRしていくべきと考える。定住支援も必要。
- ・教育のまちづくりを目指してほしい。昔は子どもの教育のために町に出られて家を建て、田舎に通勤されていたが、今後は田舎の良い教育、素直な子に育つ田舎の教育、都会ではできない教育が田舎ではできる。それをPRして子どもの為に、今度は田舎に家を建て、都会に通勤する環境を整えていく方法を考えて欲しいと思う。